平成11年６月８日第三種郵便物認可（年４回２・５・８・11月の５日発行）そうせい　第118号　平成14年８月５日発行

第14期全曹青執行部スローガン
“新世紀プロローグ、
とどろけ全曹青のハーモニー”

# そうせい

118
全国曹洞宗青年会
2002.8

# 高祖道元禅師七百五十回大遠忌奉賛
# 大本山永平寺報恩拝登「青年会の日」

## 受付は14時30分より、開会式は16時より行います

30日８時　本　講　瑞応寺専門僧堂楢崎通元老師『正法眼蔵洗浄の巻』―慕古の慶快―
30日11時　午時献供　導師　祖山監院 南澤道人 老師
他、傘松道詠奉納、『正法眼蔵八大人覚』読誦など

# そうせい

02.AUG SOSEI

## 表紙が語る

船が陸から遠ざかる。
街の喧噪は記憶となり、
波音と海風だけが耳朶を打つ。
陸と船を繋いでいた白い航跡は、
やがて雲が去る如くおぼろに消えゆく。
それでも船は、往く限り
天を模すかのように雲を描き続ける。

撮影／小原　幸子

## WHAT'S NEW

曹渓叢林曹渓山松廣寺

4

# 韓国曹渓宗大本山 松廣寺を訪ねて

平成14年７月に荒木正昭全曹青顧問を団長とする韓国曹渓宗視察ツアーが行われました。その様子をご紹介いたします。

## CONTENTS


| | | |
|---|---|---|
| 7 | 特集関連記事　韓国の仏教と曹渓宗 | |
| 8 | 環境問題のスピリチュアルな視座⑤ | 正木　高志 |
| 10 | ディスカバーヒューマンライツ④ | 見野　彰信 |
| 12 | 現代と宗教　－仏教経済学って、何？　その２－ | 武井　昭 |
| 14 | SOSEI インターナショナル③ | 藤田　一照 |
| 16 | 全曹青情報局 | |
| 22 | そうせいINFORMATION | |
| 23 | お寺散策　崇福山安楽寺 | |
| 24 | インターネットの世界をのぞいてみよう！　その20 | |
| 26 | 賛助会員御芳名 | |
| 27 | そうせいサロン | |
| 27 | 遠山無限 | 池上　幸秀 |
| 28 | 青年会モザイク | |

# 韓国曹渓宗大本山松廣寺を訪ねて

禅師さま大本山松廣寺の朝課随喜

**平成14年７月18～21日にかけて、韓国曹渓宗体験安居研修団主催（後援 全国曹洞宗青年会・仏教企画）による韓国曹渓宗大本山松廣寺での修行体験交流が行われました。今回のツアーには曹洞宗管長、大本山總持寺貫首・板橋興宗大禅師猊下が特別参加されました。**

## 特別寄稿

### 韓国佛教に学ぶ

曹洞宗管長 大本山總持寺貫首 板橋興宗

このたび韓国体験安居研修団の企画で韓国曹渓宗の大本山の一つである松廣寺を訪問した。

松廣寺に二泊し、朝三時からの勤行はじめ修行生活の一端にもふれた。また名刹、華厳寺、通度寺や観音寺も訪ねた。

韓国佛教の主流である曹渓宗は、文字通りの出家主義で、戒律を守り、僧たる者は私財を持つことがない。

出家を志す「行者」と、三年間の見習僧である「沙弥」の方々と、朝三時からの勤行を共にした。前後二百回ほどの五体投地の礼拝行には、足腰がヘトヘトになり、息切れがしてついてゆけなかった。

正式な僧である数十名の「比丘」は、安居中の三ヶ月は全くの接心行で、のぞき見することさえできなかった。日本の佛教界の現状を思い合わせ、「形が崩れると内容も流れる。もの分かりのよい考えは、堕落につながる」の感を強くした。

先般七月十八日より三泊四日の日程にて全国曹洞宗青年会・仏教企画後援による韓国曹渓宗の筆頭と言われる大本山松廣寺様にて僧堂生活を体験させて頂くという有難い御縁を頂戴した。韓国内に一万五千ヶ寺ある曹渓宗寺院の中に本山が二十五ヶ寺あるという。松廣寺様は僧侶の教育に特に力を入れておられる僧堂である。東京から飛行機で一時間半、九州から三十分の距離にある。修行僧の数が約百五十名。韓国寺院の特徴は「仏の寺、法の寺、僧の寺」と三つに分類できる。この研修会（安居体験）参加者は九名という少人数であった。しかし何よりも有難かったのは曹洞宗管長・大本山總持寺貫首、板橋興宗猊下に特別参加を頂いたことである。

韓国と日本の僧堂の違いで大きく気付いたのは、得度式をする前に行者として一年間僧堂において見習いの後、サミ（沙弥）として四年間学問を学び僧侶としての心構えを作る。それから本格的な修行僧と認められ生死の問題に取り組む。しかも禅堂と学問の分離がしっかりしていて大らかで長く修行が出来る形となっている。曹渓宗菩成大禅師猊下は、「今回の交流がきっかけとなり日本の若い人が松廣寺に来て修行なり、研鑽なりの交流が出来れば。」とのお言葉を頂戴した。

帰路のバスの中で板橋禅師猊下より「〝命の問題〟そして〝いかに生きるか〟が問題の原点である。仏様はいつ、どこにおいでになるか、それを真剣に見つめ、坐り考えれば答はおのずから表れる。」という言葉を頂戴した。

生涯忘れ得ぬ旅となった。最後に両猊下をはじめ、そして仏教企画の藤井老師、そして地元の御配慮、ご案内を頂いた釈智観和尚様、そして御接待下さいました、地元信者の皆様方へ御礼申し上げます。

——韓国曹渓宗僧堂体験レポート

全曹青顧問　荒木　正昭　記

寺に集う信者たち（上）、韓国仏教テレビの取材を受けられる板橋禅師（中）、法堂での説教の様子（下）

板橋猊下と菩成大猊下との対談

日程の中で板橋興宗猊下と韓国松廣寺菩成大猊下の対談がありました。問いの内容とお答えは以下の様なものでありました。

**問** 日本仏教と韓国仏教の違いは？　韓国寺院の維持と役割は？

**答**
・日本の仏教→檀家制　韓国の仏教→信者制。
・韓国の僧侶は戒律を重んじ結婚は許されない。
・住職の役割→禅師でも普通の修行僧や信者をサポートする役割。
・僧→独身なので純粋性を保てる。
・布施→浄銭だけでなく物でも受け付ける。僧はお金を貯蓄することは許されないので銀行に預けるのではなく、必要な時に必要な物を集める感覚。本山等は国から国立公園的な補助がある。
・役割→松廣寺様は末寺が五十ヶ寺あり、短期出家(五日間～数ヶ月の坐禅中心の生活)で仏教精神を伝える。若い世代の人も多数参加。

**問** 同時多発テロ後の仏教のあり方、役割（世界に一神教が多い中で仏教は…）

**答**
・テロ後、他の哲学者、思想家が何も言わない中、ダライ・ラマがすぐに声明を出した。「仏教の立場として『にくしみ合いでは何の解決にもならない』という一言だけでも重要な役。
・テロにおける一神教は宗教を利用しているだけである。
・仏教の立場として争いはさけ、心をもって対応する事が重要。

**問** 僧侶の結婚について韓国仏教での見方は？

**答**
・これからの国際仏教を考えた時に、宗教者が純粋な精神を持っていることが重要。妻帯していてはとても困難である。
・日本は仏教学は最先端なのだから、これからは純粋な精神を持つ宗教者を多く作り上げていって欲しい。十年頑張った上で三十年たてば日本の仏教は変ってくる。

**問** 日本の仏教は葬儀中心・高齢者中心となっている。韓国のように若い人が考えるようにする為にはどうしたらよいか。
例　日本では仏前結婚式を勧めている。

**答**
・韓国でも仏前結婚式を勧めている。
・松廣寺や末寺では、仏教教室や仏教を一緒に学ぶ機会を作るのはそれぞれの寺の義務となっている。信者教化には大きな力をそそいでいる。
・仏教は世界に伸びている。修行僧の形、気持ちでこれからの仏教が変わってくる。

曹洞宗管長・大本山總持寺貫首板橋興宗大禅師猊下特別参加

## 「韓国曹渓宗大本山松廣寺を訪ねて」

日程／平成十四年七月十八日～二十一日
主催／韓国曹渓宗体験安居研修団
後援／全国曹洞宗青年会
㈲仏教企画（曹洞宗禅グラフ発行）

団長／全国曹洞宗青年会　顧問
地蔵院住職　荒木　正昭
取材協力／㈲仏教企画　代表　藤木隆宣　老師

# 韓国の仏教と曹溪宗

## はじめに

曹溪宗は正式名称を大韓仏教曹溪宗といい、韓国仏教の最大の宗派である。僧侶数は韓国全体の約六割を占め、ソウル中心部には本山である曹溪寺がある。教育機関としては東国大学校を擁しており、正しく韓国仏教界の中心的な位置を担っている。ただ、曹溪「宗」という宗派は私たち日本人が考える「宗派」とは性格を異にする。私たちは宗派といえば、道元禅師・曹洞宗学の如く、開祖や宗学が必ず存在すると思うであろう。しかし私が韓国で様々な僧侶や学者に聞いたところでは曹溪宗には明確な開祖や宗学は存在しないようである。しかし、これを不自然に思うのは私たちが開祖・宗学を有する宗派の展開からなる日本仏教の枠内に居るからであり、その日本仏教は韓国とは異なった歴史を辿っているのである。

さて、現在、曹溪宗の開祖と目されているのは、普照国師知訥〈ポジョククサチヌル〉（一一五八－一二一〇）、太古普愚〈テゴポウ〉（一三〇一－八二）である。どちらにせよ開祖とされるだけに、現在の曹溪宗の思想と繋がるものがある。本稿では韓国仏教の歴史を概観した後、開祖とされる二人のうち知訥の思想に触れ曹溪宗の紹介としたい。

## 韓国仏教の歴史

韓国に仏教が伝来したのは三国時代であり、伝来時期は高句麗と百済が四世紀末と日本に比べ二〇〇年ほど早い。新羅は日本よりも少し前である。本格的な仏教研究が始まるのは七・八世紀の統一新羅の時代からである。この時代には、「和諍思想」で知られ現在でも韓国で尊崇を集める元暁〈ウォニョ〉、韓国の華厳祖師・義湘〈ウィサン〉、入唐して玄奘とともに法相宗の確立に尽力した円測〈ウォンチュク〉を輩出するなど、中国仏教の水準に並ぶほど高度な教学を有していた。この中、華厳宗は以後、新羅から高麗にいたるまで中心的な位置を占める。九世紀頃からは中国仏教の趨勢にあわせ禅僧が増加し「九山禅門」と称されるほど活発となった。ただ、これらの禅者も若い時には華厳教学を学びそのあとで禅へと転向している。

## 修行と学解 バランス感覚を重視した 知訥の禅

さて、こうした流れをうけて高麗時代中期に活動した知訥は、若い頃に唐の華厳学者・李通玄の『新華厳経論』に親しみ、さらに大慧宗杲の『大慧語録』により大悟し、また唐の華厳学者・宗密の『禅源諸詮集都序』を重視した。このように知訥の仏教は禅を主体とするものであるが、底流をなすものは新羅以来の華厳教学である。もちろん教外別伝を標榜する禅であるから教学がそのまま継承されたわけではないが完全に捨ててしまっていないことには注意される。さて知訥の禅は「普照禅」と呼ばれる。そのキーワードは「頓悟漸修」、「定慧双修」である。頓悟漸修とは一度悟った後の修行の重要さを説くものであり、定慧双修とは、その際に禅の修行と学解とをともに行うことである。このバランス感覚こそが知訥の特徴である。そしてその背景に華厳教学があることが重要である。華厳を重視する伝統は現在でも継承され、韓国の書店の仏教書のコーナーに行くと、『六祖壇経』や『金剛般若経』等の禅書に並んで『華厳経』や華厳思想に関する書物も多く見ることができる。

## 現在の曹溪宗に

これ以後、太古普愚が元から臨済宗をもたらし、ほかにも念仏や陀羅尼など様々な要素を吸収し重層的に重なりながら現在に繋がる曹溪宗が形成されていく。いや、その頃には曹溪宗という宗名すら自称していたかは確実ではなく、多くは自分たちは禅仏教であると自覚していたようである。そしてその後の朝鮮（李氏朝鮮）時代の排仏や日本制圧下の朝鮮仏教の統制などの紆余曲折を経、独立後に「大韓仏教曹溪宗」という名称が正式に付されたのである。すなわち、曹溪宗と言っても日本のように平安・鎌倉時代の明確な開祖と宗学とを持った「宗派」が現在まで継続するのではなく、華厳教学や禅を基盤としながら様々な教えが堆積していったのが曹溪宗なのである。ここから言えば「曹溪宗」とは「韓国仏教」と同義といえるかもしれないのである。

**文・佐藤 厚（さとうあつし）**

東洋大学非常勤講師。日本印度学仏教学会データベースセンター主事。山形県鶴岡市生まれ。1998年東洋大学大学院文学研究科仏教学専攻博士後期課程修了。博士（文学）学位取得。主要論文に『新羅高麗華厳教学の研究―均如『一乗法界図円通記』を中心として―』（博士学位論文）、「如来蔵の鏡と華厳の鏡」（『印度学仏教学研究』通巻98号）等がある。

〈梅花流法具指定販売店〉
法衣・袈裟・打敷・寺院荘厳具・京仏壇・京仏具
株式会社 安藤
本社
（〒605-0081）京都市東山区古門前通花見小路東入ル
0120-29-8161（法衣部）
0120-29-8165（仏具部）
0120-19-8168（贈答品部）
東京店
（〒105-0014）東京都港区芝2丁目15番2
TEL:0120-3232-09
福岡店
（〒812-0036）福岡市博多区上呉服町12－7
TEL:0120-2143-22

# 環境問題のスピリチュアルな視座

## 第5回

## 出アメリカ記

正木 高志

1945年生まれ。東京教育大卒。60年代なかばからインドを旅し、80年に帰農。90年から91年にかけてモンタナ州立大学に招聘されて環境倫理学を講義。著書に『スプリング・フィールド』（地湧社刊）、『木を植えましょう』（南方新社刊）。熊本県菊池市在住

生物が生きているのは海面から上下一〇キロメートルほどの範囲内である。それが生物の環境だ。地球の半径は六三七一キロメートルだから、地球を直径一〇センチメートルほどのリンゴだとすれば、生命圏はリンゴの皮よりも薄い〇・三ミリメートルほどの被膜にすぎない。しかもそれは絶妙のバランスの上に奇跡的に成り立ってきた、きわめて繊細で傷つきやすいシステムなのである。

### 持続可能な発展

二〇世紀の後半になって明らかになったのは、これまでのやり方で開発・発展をつづけるならば、近い将来地球環境は人間の生存に適さなくなってしまうだろうということだった。現代文明は確実に行き詰まってしまうというのである。つまり持続不可能なのだ。このやっかいな現実に対して、経済発展の〈持続可能性〉が模索されはじめ、一九九二年にリオデジャネイロで地球サミットが開かれて、〈持続可能な発展（サステナブル・ディヴェロップメント）〉という原則が国際的に認知された。

しかしこのコンセプトはその成立当初から曲解されやすい種を宿していた。そしてそれは地球サミットによって曲解の方向へ流れが向けられてしまった。つまり、〈どこまで環境を破壊してもかまわないか〉という点に論議がすりかえられたのである。

社会が持続可能でなければならないというのは当然だ。しかし、なぜ発展や開発が持続されなければならないのか。開発とは自然環境や社会から最大の利益を奪おうとする行為のことである。人間にとっては開発だが環境にとっては破壊にほかならない。そんな発展がはたしていつまで持続可能であるだろう。ほんとうは人類はいま、持続可能性か開発発展かの選択を迫られているのではないのか。

### からだにやさしい煙草!?

〈持続可能な発展〉という考えのスタンスが、持続可能性よりも発展のほうにおかれているのは明らかだ。つまり持続可能なアメリカンドリームを、あるいは環境と共生するアメリカンドリームを、というわけである。しかしアメリカンドリームこそが危機を生みだしている元凶ではないのか。だとすれば、環境と共存するアメリカンドリームなどありえないはず。そうであるなら、〈持続可能な発展〉とは〈持続不可能性の持続〉というパラドックスに他ならない。

たとえば煙草の吸いすぎで肺癌に冒されたとしよう。具合が悪くて煙草が吸えない。このままだと癌が進行するからと医師にも止められている。〈持続可能な発展〉というのは、その病人が、いつまでも煙草を吸いつづけることができるように健康維持に努め、からだにやさしい煙草を開発しようとするようなものだ。

なぜ煙草そのものを手離そうとしない？　煙草をやめなければ、当面の問題をクリアする新しい煙草が開発されたとしても、すぐに新たな問題が生じ

るのは目に見えている。マイルドやライトなら身体によいというのはまやかしだ。ほんとうの問題は煙草の毒性の強弱にではなく、煙草を吸うことそのものにあるはずだから。

宇宙に漂う小さな星の上の生態系において、環境を破壊しながら一方向的に繁栄をつづけようとするアメリカ文明――世界観・価値観・方法論――が持続可能でありえるはずがない。それはまるで他の健康な細胞を破壊しながら増殖する癌のようではないか。そしていまやアメリカという癌は世界中に転移――アメリカナイズ――しつつある。

## 出アメリカ記

今日のエジプトやイスラエルとは何の関係もないことだけれど（むしろ立場は逆転しているかもしれないが）、旧約聖書の〈出エジプト記〉にたとえるなら、〈持続可能な発展〉という考え方は、エジプトから脱出するのではなくて、エジプトを持続可能にしようという概念である。だが、エジプトこそ神に敵対する悪徳の温床ではなかったか。だからこそモーゼはエジプトから脱出して神の国をめざしたのではなかったか。

そのように、ほんとうに環境問題を解決しようとするのなら、ぼくたちはアメリカを持続可能にしようとするのではなくて、アメリカから脱出しなければならないのだ。

もちろん、ここで僕は、アメリカという言葉をシンボリックに使っている。アメリカとは、心と生命とを物質的繁栄のために売り渡してしまった拝金主義者たちの社会のことだ。アメリカに追いつき追いこそうとしてきた日本も、その日本を目標に経済発展をめざしてきたアジアの国々も、その意味でアメリカである。合衆国に住む僕の友人たちのためにつけ加えておくならば、アメリカを脱出して環境社会をめざそうとする人々は今日ではむしろアメリカ人に多いといえる。

## 高度な精神文明の必要

環境問題を解決し、持続可能な社会をめざそうとするならば、アメリカ文明の持続をではなくて、アメリカに代わる持続可能な新しい文明を求めなくてはならない。とはいえ、科学技術の発達や物質主義を全般的に否定しなければならないわけではないだろう。問題は、科学技術や産業の飛躍的な発展によって手にした巨大な力に比べて、現代人の精神性あるいは倫理観があまりにも未熟で立ち遅れてしまったことにあるからだ。

二〇世紀、ヒトは原子力とコンピューターを手にし、月面に立った。地上を何十回も焼き尽くすことができるほどの軍事力を装備し、大気圏内の温度を高めて海面を上昇させるほどの膨大なエネルギーを消費するようになった。科学技術の飛躍的発達によってヒトはこのような巨大パワーをもったのであるが、その力を制御すべき精神性のほうは、むしろ退化してしまったように思われる。そのアンバランスが危機を生んでいる。現代社会はあたかも軽自動車なみのステアリングとブレーキしかそなえていない五〇〇馬力の駆動力をもったダンプカーのようだ。巨大パワーを制御しきれずに暴走して、すさまじい勢いで環境を破壊している。

百年前にくらべれば、現代人が環境に与える打撃（インパクト）は百倍にものぼるだろう。それは現代人が百年前とおなじ意識で行動するならば、環境を百倍も破壊してしまうことを意味する。そのリスクを除くためには、ぼくたちは百年前の人々にくらべて百倍も高度な自制力をそなえ、注意深く、思慮深く行動しなければならないはずである。

力が悪いのではない。力を捨てなければならないわけでもない。環境危機を乗り越えるために必要なのは、身につけた巨大パワーに見合うだけの高度で強靭な精神性をそなえることである。環境を破壊するのは力ではない。異常に肥大してしまった僕たちのエゴ――自己中心性とどん欲――だ。制御されなくてはならないのはこの心である。心を制御するのは精神性である。高度な科学技術力を制御するにたる、高度な精神文明が樹立されなければならないゆえんである。

# ディスカバーヒューマンライツ④

## －知的障害者の人権－（具体的事例をもとに）

ディスカバーヒューマンライツでは、これまでＤＶ、児童虐待、犯罪を行った精神障害者の処遇についてと、それぞれの人権問題の各分野について総論的な視点で取り上げてきましたが、今回は少し視点を変え、具体的な事件をご紹介し、知的障害者の人権が現実にどのような場面で問題となりうるかということについて解説していただきました。

### 水戸事件

水戸市のとある段ボール加工会社では、当時多数の知的障害者を従業員として雇っており（全員住込）、職業安定所などからは障害者雇用の「優良企業」として紹介され、同社の社長は障害者福祉の功労者として水戸市から表彰状や感謝状をもらったりしていました。

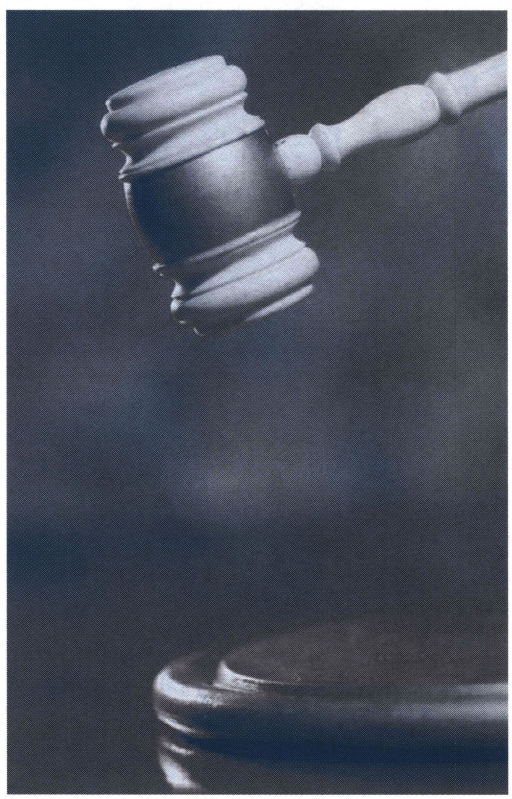
しかし、実際のところ、同社では従業員に支払う賃金台帳等に虚偽の記載をして職安からの障害者雇用助成金を不正に騙し取ったほか、従業員である知的障害者に対して、背中を蹴る、木の棒で顔を殴る、食事を抜く、社長や出入業者が性的虐待を加える、といった肉体的、性的暴力が日常的に行われていました。

従業員らは、ワンマン経営である社長が怖くて抵抗することができませんでしたが、１９９４年春ころ、被害を受けた従業員の女性が、水戸警察署や水戸職業安定所等を訪ね歩いて被害を訴え出ました。ところが、その女性は、職員から仕事の邪魔だから帰るように言われるなど、被害を聞き入れてはもらえませんでした。

翌年10月、同社に勤める知的障害者の母親が、娘と一緒にお風呂に入った時、大きなあざがあるのを発見しすぐに社長に電話をしたところ、「俺がやった。文句があるなら早く辞めろ。」と言い放ちました。そこで、母親が娘の診断書をつけて水戸警察署に傷害罪で告訴し、障害者雇用助成金の不正取得（詐欺）についても告発したところ、翌年１月に社長は逮捕されました。ところが、社長は20日ほどで釈放となり、水戸地方検察庁は上記詐欺罪だけを起訴し、女性従業員に対する傷害罪は不起訴としました。

その後、被害者弁護団が結成され、事実の調査及び捜査機関への抗議（上記傷害事件を起訴するよう抗議、加えて強姦罪等についての刑事告訴）等が行われました。結局、検察庁は、不起訴とした上記傷害事件を起訴し、他に２件の暴行罪を追起訴したのみで、強姦罪や重い傷害罪については不起訴としました。当時の水戸署幹部は新聞の取材に対して「社長側が全面否認している中で、物証のない『密室の行為』の立証は難しい」とコメントしましたが、そこには知的障害者の供述の信用性に対して疑問を抱いているように感じられます。

そして、１９９７年３月28日、水戸地方裁判所で社長に対する判決が下されました。判決内容は懲役３年、執行猶予４年の執行猶予付判決。それに対し、支援者らは不当判決として社長を乗せた車を取り囲み、フロントガラスを割るなどして一時騒然となり、機動隊が出動する騒ぎとなりました。被害者側弁護団は「判決には納得いかないが、こんな暴力事件を起こしては、せっかく盛り上がった支援の流れに水を差してしまう。」とコメントし、顔を曇らせました。

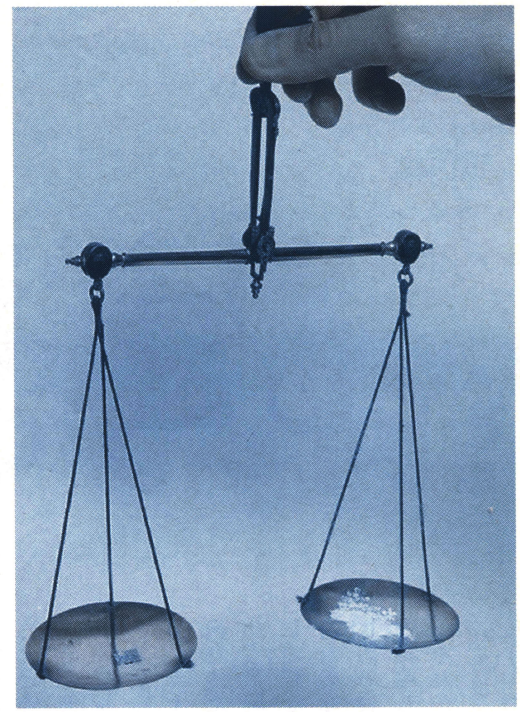


### 白川育成園事件

福島県の知的障害者入所更生施設・白川育成園において、１９９７年の４月以降、知的障害者に対する数々の虐待行為が告発によって暴かれ、その人権侵害ゆえに施設自体が廃園となった事件です。

当園においては、園生の行動を抑制するため催眠剤などの薬物を大量に投与する、殴る、蹴る、食事を抜く、蔑視したあだ名で呼ぶ、性的虐待を加える、などの暴力が日常的に行われていましたが、入所者は「園長」の復讐を恐れ、被害を外部に訴え出ることができませんでした。

ところが、１９９７年になり、



自らも入園者に暴力を加えていた職員が自責の念にかられ、入園者の親の一部に実態を告白しました。職員の告白は当時の新聞にも大きく取り上げられ、その中で職員は「連れ戻された園生に言われたんです。『私を叩いてちょうだい。叩かれないと分からないから。直らないから…。』と。びっくりして思わず彼女を抱きしめました。体罰をした園生には本当に謝罪したい。」と述べています。

この告発を受け、福島県は現地調査を行い園長宛に「指導監査の結果について（通知）」という監査報告書が出されました。その中では白川育成園の監督指導機関である福島県は「虐待」の言葉をあげていないものの、表現の趣旨からすると園の虐待の事実を確認したものといえます。

また、弁護団が結成され、園長が医師法違反、暴行罪等の罪名で白河警察署に刑事告訴されました。ところが警察側は、刑事告訴された園長と職員1名の他に、内部告発をした職員たちをも被疑者として取り調べました。そして、4人全員が送検され、結局、園長も含めた全員が不起訴となりました。さらには、法務省人権擁護局は、園長らについては注意勧告もせず、逆に内部告発をした職員たちに限って人権侵犯の勧告処分をしました。まさに「正直者がバカを見る」結果となってしまったのです。

その後、多数の入所者たちが退去して、白河育成園は廃園となりました。

## 甲山事件

この事件は右2件とは異なり、目撃者としての知的障害者の証言の信憑性が激しく争われました。これは、1974年、知的障害児施設の若い職員が入園者を殺した罪に問われ、約25年間、無罪・審理差し戻しが繰り返され、1999年に無罪判決が出て冤罪が晴らされた事件です。

捜査機関は、知的障害者は「ウソがつけない。」として、職員を殺人犯にする目撃者としましたが、裁判ではその目撃証言が当該知的障害者の実体験に基づく証言であったのかどうかということが激しく争われました。

裁判では、捜査機関が意図的に若しくは誘導・暗示をもって取調官の期待する方向への情報操作をなして、有罪との目撃証言を作り出したものであったことが明白と認定され、無罪判決となりました。

この事件の背景には、「捜査機関にとって有利なように知的障害者を誘導して目撃証言を作っても分からないだろう。」または「知的障害者はウソをつかない。」という捜査機関による差別的意識ないし偏見があったものと思われます。

## 最後に

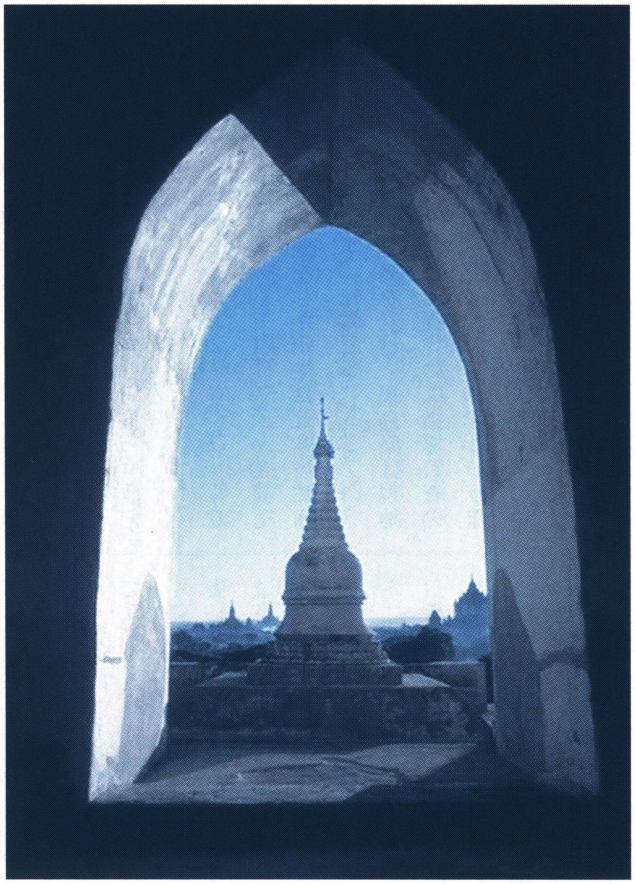
以上、知的障害者の人権が問題となった具体的事案を、ただその事実のみを書いてきました。水戸事件、白河育成園事件に関して言えば、もちろんあらゆる知的障害者施設において虐待が行われているということではありませんが、過去にこのような事件が起きたということ、施設という密室で行われるものであるゆえ発覚が遅れるおそれがあること、捜査機関や弁護士、行政機関等が施設における虐待、人権侵害のおそれを発見したときには、出来るだけ早く対応する必要があることが分かります。

また、甲山事件に関して言えば、「知的障害者はウソをつかない。」という偏見があり、その根底には知的障害者に対する差別的意識があることがわかります。また、同じ知的障害者であっても、被疑者の立場である場合には「話すたびにウソをつく。」と捜査機関に問い詰められる等、偏見や差別に基づいた捜査がなされることがあります。

過去の事例を見て、知的障害者の人権や知的障害者に対する捜査方法というものを再度考えてみる必要があると思います。

**文・見野彰信**
早稲田大学法学部卒。民事・刑事・家事など法律問題一般を扱う。野田信彦法律事務所（札幌市）所属。

# その2



## 仏教経済学は「正　命」の学

「仏教経済学」という言葉が世界中にとどろき亘ったのは、シューマッハーが著した『スモール　イズ　ビューティフル』の第四章で取り上げられたときからです。彼はカトリシアンですが、ミャンマーの経済開発顧問として携わったとき、ミャンマーには仏教という素晴らしい経済思想がある。それに自信を持って「仏教経済学」のようなものを作る覚悟で取り組めば、世界に誇る経済が必ずできますということを提唱しました。

それから三十年近くになりますが、「仏教経済学」の構築に真剣に取り組む人はミャンマーはもとよりアジアの仏教国にも殆どいません。それどころか、今でもカトリシアンのシューマッハーに「仏教経済学」を学ぶべきだという仏教者が多い有様です。カトリシアンとしての開発経済学についてはシューマッハーに学ぶ点は少なくないが、仏教とは似て非なるものでしかありません。

それはさておいて、シューマッハーが「仏教経済学」を構築するときの根拠にしたのが、八正道の一つの「正命」（しょうみょう）です。仏教の教えに従って「いまを生きる」ことを問うだけのことです。このことは仏教者だけしかできないことにもかかわらず、仏教者としての生き方に本当の自信が持てなくなっているのです。シューマッハーにいわせれば仏教者としての生き方と現実の経済との間に距離ができてしまっていると勝手に思い込んでいるということになるのでしょう。

## 仏教経済学は「非市場経済」の学

「仏教経済学」という言葉は、戦前では、友松円諦が「寺院経済」の解明を主眼に置いて、「仏教と経済」の関係について研究に着手されました。「現代経済」との関係では、戦後まもなくマックス・ウェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』で展開された「宗教と経済」の関係に倣って、禅宗や石門心学にそれに近い教えがあるとして「仏教と経済」の関係が研究されるようになりました。しかし、現代経済を「資本主義経済」や「市場経済」と捉え、それを是認した上での研究にすぎず、シューマッハーのように、今に生きた「現代経済」との関係で取り上げられるまでに至りませんでした。

遅ればせながらでも、シューマッハーの指摘に仏教者が耳を傾け、「資本主義」とか「市場経済」といった、西洋近代で開発されたパラダイムに惑わされずに、二五〇〇年余の歴史のある仏教の視点からそれらに代わる仏教経済に取り組むことです。その時のポイントは、西洋近代の「市場経済」（マーケット）の裏にあって、仏眼でのみ見える、もう一つの経済原理である「市」（バザール）を中心に据えた「非市場経済」に目を向け、その現代化を図ることです。

# 「仏教経済学」って、何!

## 「バーチャル・エコノミー」は仏教経済学か

「現代経済」は「情報化社会」に向かっており、東アジアを中心に展開されようとしています。言い換えますと、これによって「仏教国」の「工業経済化」の可能性が世界的にチェックされることです。日本を含めた仏教国は「現代」という時代の中でどう生き延びていけば良いのでしょうか。

仏・法・僧の三宝が敬われてはじめてその時代に生きた仏教となります。今日の日本ように、僧侶が世襲化されているため、江戸時代に定着したにすぎない「檀家制度」を背景にした「葬式仏教」にすがって生きてきましたが、これからは、さし当たり「仏教的空」と「バーチャル・エコノミー」（仮想経済）の真の関係を現実の経済の中で具体的に提示することに多くの時間を費し、今一度「法と僧」が尊敬されるようになる努力をすることで良いというのでしょうか。仏教思想の近代性をさがすことから一刻も早く目を覚まし、「行」の仏教で培ってきた財産を吐き出すときなのです。

**文・武井　昭**

高崎経済大学経済学部教授・付属産業研究所所長、駒澤大学仏教経済研究所員。
1942年大阪市生まれ。昭和44年早稲田大学大学院修士課程終了。その後。高崎経済大学助手、専任講師、助教授を経て、昭和59年に教授、現在に至る。
（著書）
「仏眼で読む日本経済入門」（経済界）、「生活と福祉の社会経済学」（高文堂出版社）等がある。

### ◆編集部註①　シューマッハーについて

エルンスト・フリードリッヒ・シューマッハー（1911～77年）ドイツボン生まれの経済学者。オクスフォード大学に学ぶ。戦後英国に帰化。英国石炭公社顧問として早くから石油危機を予言。その「スモール」の経済哲学は、物質至上主義の現代文明への最も鋭い批判として新たに注目されている。「仏教経済学」は、1973年出版の「スモールイズビューティフル」の中で取り上げられている。出版と同時にベストセラーとなった同書は現在に至るまで世界的影響を与え続けている。同書の中でシューマッハ自身が「真理は宗教の形で語られている」と述べていることからも彼が形而上的、宗教的なものを重要視していたことが分かる。晩年にカトリック信者となる。シューマッハーの経済学はそれまでの現代経済学とは一線を画す新しい視点から人間と社会、自然とのあり方を考えたものと言える。ちなみに「スモールイズビューティフル」の副題は―人間中心の経済学―である。今日見られる環境問題、エコロジー経済学、軽薄短小技術の発展等にはシューマッハの影響が多分に見られる。

### ◆編集部註②　シューマッハーの説いた仏教経済学

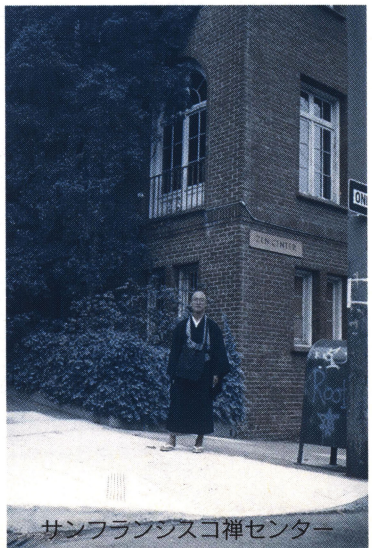
シューマッハーは、ビルマの経済顧問に就任したことから仏教に対する理解を深め、仏教的見地にたった「仏教経済学」を提唱する。現代経済学が欲望の充足を目的としているのに対して仏教経済学では普遍的な人間らしい生活が求められる。簡素化と非暴力、生あるものへの敬虔な態度、生命サイクルの保持などが特に重要視されている。彼は「現代経済学では、金で表した価格によってすべてのものを同一化し、再生可能の物質と再生不可能なものとの区別をしない。」と説き、「仏教経済学的見地にたてばこの両者には決定的な違いがあり、その違いは決して無視されるべきものではなく、再生不能財を不用意に使い続けることは自然に対する暴力行為である。」とある。近年注目されつつあるものの、このような価値観は未だ現在の我々の経済態度と隔たりがある。シューマッハは「今日、宗教や精神の価値を無視して行われている「近代化」なるものが、本当によい成果を上げているのかという疑問が残る。」と言う。彼の説く「仏教経済学」は八正道の「正命」にその価値基準をおいて、新たに構築するものである。シューマッハーの仏教経済学はむろん完全なものではないが、仏教者として対社会的な行為を考える上でシューマッハーの仏教経済学は示唆に富むものと思われる。

◆参考文献　E・Fシューマッハ「スモールイズビューティフル」講談社学術文庫、水野弘元「仏教用語の基礎知識」春秋社 他

※編集部注は本記事理解の一助となるべく武井先生監修のもと、編集部で作成いたしました。

# SOSEI INTERNATIONAL

# 「ソーシャリー・エンゲイジド・ゼン」（社会の諸問題に精力的に関わっていく禅）


サンフランシスコ禅センター

## アメリカにおける仏教革新の動き

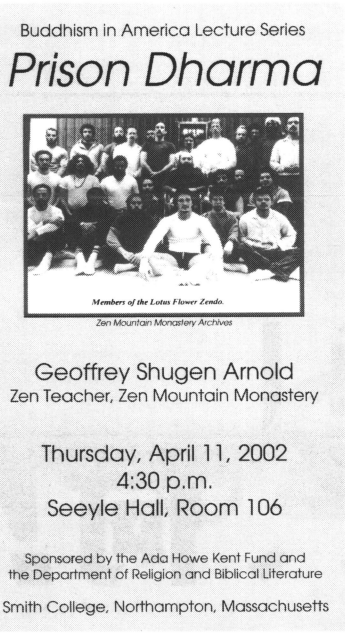
仏教は、洋の東西を問わず、一般的に、厭世的で現実逃避的な宗教だと思われてきました。俗世間とのかかわりを絶ち「出家」して僧院のうちにこもっておこなう修行が伝統的に理想とされてきたこと、現世は本来的に苦でありそこからの出離以外に救いはないという教理やじっと坐りこんで内なる世界に沈潜するかのような瞑想行が強調されてきたことなどを考えればそれも無理のないことかもしれません。特に「己事究明」を前面に押し出し坐禅を最重要視する禅仏教に対してはとりわけ「社会の雑事には背を向け専一に悟りをめざす」というイメージが定着しがちでした。もちろんこれは一面的で誤った理解ですが歴史的にみると「世事」より「己事」が優先されてきたことは否定できません。

しかし、現在のアメリカの禅は前回にも述べましたように、僧院にひきこもり世事に背を向ける（いわば「ソーシャリー・ディスエンゲージド・ゼン」とでも言えるでしょうか）どころか禅修行の重要な一環として積極的に社会の諸問題に創造的に取り組んでいこうとしています。実はこういう態度は禅にかぎらずひろくアメリカの仏教全般にみられる特徴で（アジアの仏教国でもそういう動きがあります）、ひとつの仏教革新運動として「ソーシャリー・エンゲイジド・ブディズム」という言葉で呼ばれています。それは付加的で周辺的な単なる宗教的慈善行為といったレベルを超えてもっと包括的に仏教の英知と実践を社会的諸問題の解決に生かすことによって、個人的な解脱だけではなくより広く社会全体のよりよい解放をめざそうとする努力なのです。大乗仏教が唱えた「衆生無辺誓願度」という菩薩的生きかたを現代に力強くよみがえらせようとしているのだと言ってもいいかもしれません。

この言葉は現在アメリカでダライラマと並んで最も敬愛されている仏教指導者であるヴェトナム人禅僧ティク・ナット・ハン（釈一行）師がヴェトナム戦争中に使い始めたとされています。たとえば「仏教とは目覚めることである。目覚めるとはからだに、こころに、そして世界にいまなにが起きているか、それにはっきりと気づいていることである。もしあなたがほんとうに目覚めているなら、あなたのまわりに見える衆生のさまざまな苦しみを和らげるために慈愛にみちた行動を起こさないではいられなくなるはずだ。瞑想行は社会からの逃避ではない。自らにたちもどりそこで起こっていることをはっきりと見とどけることなのだ。ほんとうの見とどけがあるところにはかならず行動がある。深い気づきがあれば何を為すべきか、何を為すべきでないかがおのずとわかるのだ。だから仏教は本質的に世界に関わる（エンゲイジする）ものでなくてはならない。そういう関わりがないのならそれは仏教ではない。」とナット・ハン師は語りました。こうした「関わる仏教」の提唱は、アメリカにおいて六十年代から続いてきているリベラルな立場からの社会問題への強い関心とプロテスタンティズムに根強くある現世改革志向に基づく積極的なアクティヴィズム（実行主義）とあいまってアメリカにおける仏教のひとつの大きな潮流になったのです。いつか、こういう意味深い動きを日本でも詳しく紹介できたらと思っています。

## 「関わる仏教」

曹洞禅の流れを汲むアメリカの禅修行者たちの「エンゲイジ」の実例として



「プリズン ダルマ」講演会ポスター

平等山禅堂接心にて

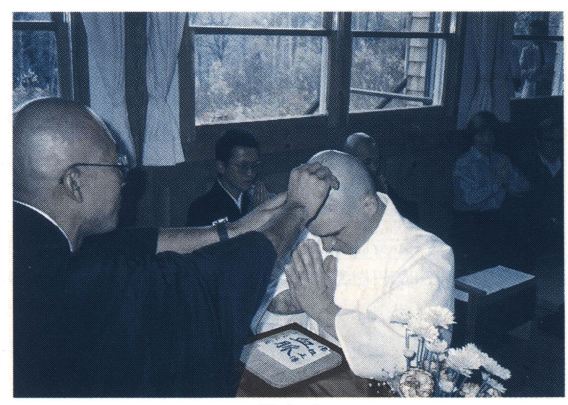
は、サンフランシスコ・ゼン・センターがおこなっている「ホスピス・ヴォランティア・プログラム」（末期癌やエイズで死の床についている患者の元へ禅修行を含む研修を受けたヴォランティアを派遣する）、日本で長年修行を積んだベナージュ大円尼和尚（ペンシルバニア州平等山禅堂）やゼン・マウンテン・モナスタリーがおこなっている刑務所内での坐禅指導、前角博雄老師の法嗣である徹玄グラスマンが最近創設したゼン・ピースメーカー・オーダー（禅調停者教団）が展開しているさまざまな社会的活動（アウシュヴィッツや路上でのリトリート、葛藤調停技法の訓練、諸宗教の平和団体間のネットワーキングなど）、サンフランシスコ・ゼン・センターやゼン・マウンテン・モナスタリーが展開している環境意識向上のためのさまざまなワークショップ、そして代表的なソーシャリー・エンゲイジド・ブディストの団体である「ブディスト・ピース・フェローシップ」には多くの曹洞禅修行者が中心的メンバーとして加わり活躍しています。

わが日本曹洞宗も環境問題、人権問題への積極的取り組みやシャンティ国際ヴォランティア会の活動など宗門をあげて社会の問題に精力的に関わってきた実績をもっています。アメリカにおけるさまざまな仏教的ソーシャル・エンゲイジメントの理念や試みにもおおいに学びながら、宗門全体としてもまた個々の寺院や僧侶のレベルにおいても今後とも充実した活動を続けてもらいたいと願っています。

## 世事と己事のバランス

ただ懸念されるのは、「ソーシャリー・エンゲイジド」はよいけれどとりくむべき問題があまりにも多岐にわたり複雑で解決の困難なものが多いため、それに足をすくわれ「ゼン」の部分がおろそかになる危険性があるということです。坐禅修行と社会的行動のあいだにうまく折合いとバランスをとりながら「中道」を歩んでいくこと。それは実際は口で言うほど（たとえば「社会活動を動く坐禅として行なうのだ」と言いますがそれができるためには相当の坐禅修行が必要ですし、坐禅は坐禅であって社会活動をもってその代わりにすることはできないでしょう。またその逆も言えます）たやすいことではありません。次の週末には接心に参加すべきか反核のデモに参加すべきかといった選択を具体的にしなくてはなりませんし、さらにはそれだけではなく家族や友人との関係、生活の糧の問題、育児の問題、健康の維持、自分自身の教養の向上といったさまざまなことがらも同時に考慮に入れなければならないのです。われわれは実生活を背負った生身の人間なのですから…。坐禅修行がそのまま社会的な活動であり、社会的な活動がほんとうに坐禅の展開であるような地平をどう拓いていくか。「世事」と「己事」が切り結ぶところでどう禅を現成させるか。この点においてアメリカの「ソーシャリー・エンゲイジド・ゼン」はまだまだ試行錯誤をしている段階だとわたしは思っています。そしてそれはこのうえなく貴重な実験として高く評価すべきだと思うのですが、みなさんはどうお考えでしょうか。

グリーンガルチ禅センターの農場



得度式

さて次回は、「ソーシャリー・エンゲイジド・ゼン」とならんで禅が禅堂を出てその外で「応用」されているもう一つの実例として、「セラピー社会」といわれるアメリカにおいて心理療法の実践に禅がどのような影響をあたえているかについて書いてみたいと思います。

**文・藤田一照**

1954年、愛媛県生まれ。1987年、米国マサチューセッツ州ヴァレー禅堂の住持として渡米、現在にいたる。著書に『新こころのシルクロード』（共著　佐賀新聞社刊）、訳書にティク・ナット・ハン『禅への鍵』（春秋社刊）、スティーブン・バチェラー『ダルマの実践』（春秋社刊）等がある。

ON AIR

去る６月17日、曹洞宗檀信徒会館において全曹青総会が開催されました。

午前10時より、評議員会（43名）が開かれました。議長選出では、伊串泰純師（宮城曹青）が議長に、磯田浩隆師（熊本曹青）が副議長に選任され、平成13年度事業および収支決算報告。平成14年度事業計画案および収支決算案が可決いたしました。続いて、午後１時より、全国より百余名の会員各位の参加を得て、平成14年度総会が開かれました。

開会式は、池上幸秀会長を導師として本尊上供が厳修されました。

総会は、高原淳尚事務局長が司会を務め、開会の辞を白井應隆副会長が宣言しました。

総会風景

講演風景

続いて、池上会長が挨拶に立ち、全国各地よりの会員各位のご参集に対し、お礼を申し述べ、昨年より掲げてきた、「とどろけ全曹青のハーモニー」のスローガンに邁進すること、今年の高祖道元禅師750回大遠忌における全曹青の「慕古事業」の報恩実践行を皆様のご協力によって円成させていただく事を、力強く述べました。

次に、教化部長の壇上尚道老師より、全曹青の益々の発展を祈念するご挨拶をいただきました。

また、慕古事業経過報告が森道輝総合企画委員長によって説明されました。

次期会長選考委員会（浦辺世紀委員長）からは、第15期全曹青会長に、山口英寿師（愛知第１）が、副会長に河村康秀師（北海道第１）・和田光史師（鳥取）・宮寺守正師（埼玉第１）が選考され満場一致で承認されました。

次に、全日本仏教青年会からの活動経過報告を、山口英寿副会長が報告がありました。

最後に閉会の辞を、本土一真副会長が述べて総会を閉じました。

続いて、午後３時半より「禅の集い　中央研修会」が開催されました。講演は、講師に駒澤大学教授の河村孝道先生をお招きして、「『正法眼蔵　八大人覚』撰述のおこころ」と題して、八大人覚の書写運動にちなんで、道元禅師最後の教えをご講演いただきました。

## 全国曹洞宗青年会 平成13年度決算書

平成13年４月１日～平成14年３月31日

**収入総額　一金　33,139,697円**
**支出総額　一金　32,220,894円**
**差引残額　一金　918,803円**

収入の部

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 会費 | 1,419,500 | 1,436,500 | 17,000 | 500×2,873名分 |
| 賛助会費 | 8,000,000 | 13,419,000 | 5,419,000 | |
| 事業助成金 | 15,000,000 | 15,000,000 | 0 | 宗務庁より |
| 協賛金 | 1,000,000 | 840,000 | △160,000 | 「そうせい」広告料 |
| 雑収入 | 13,314 | 477,011 | 463,697 | 花まつり事業収入・寄付金他 |
| 前年度繰越金 | 1,967,186 | 1,967,186 | 0 | |
| 合計 | 27,400,000 | 33,139,697 | 5,739,697 | |

支出の部

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 事業費 | 18,100,000 | 18,232,452 | 132,452 | |
| 研修費 | 200,000 | 200,225 | 225 | 禅の集い中央研修会等 |
| 総合企画事業研修費 | 4,200,000 | 4,126,850 | △73,150 | 禅文化学林・花まつり等 |
| 広報 | 9,700,000 | 9,930,560 | 230,560 | |
| 青少年教化研究費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| ボランティア研究費 | 1,000,000 | 995,727 | △4,273 | |
| 授戒会研究費 | 1,000,000 | 985,910 | △14,090 | |
| パソコン通信研究費 | 1,000,000 | 993,180 | △6,820 | |
| 運営費 | 9,250,000 | 13,988,442 | 4,738,442 | |
| 会議費 | 7,400,000 | 11,856,230 | 4,456,230 | 会議費・交通費他 |
| 事務費 | 300,000 | 420,212 | 120,212 | 事務通信費・振込手数料他 |
| 渉外費 | 1,500,000 | 1,712,000 | 212,000 | 全日佛青・管区大会助成他 |
| 雑費 | 50,000 | 0 | △50,000 | |
| 予備費 | 50,000 | 0 | △50,000 | |
| 合計 | 27,400,000 | 32,220,894 | 4,820,894 | |

残額　918,803円を次年度に繰り越します。

## 全国曹洞宗青年会 平成14年度予算書

平成14年４月１日～平成15年３月31日

**収入総額　一金　30,400,000円**
**支出総額　一金　30,400,000円**
**差引残額　一金　0円**

収入の部

| 項目 | 前年度予算額 | 本年度予算額 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 会費 | 1,419,500 | 1,451,500 | 32,000 | 500×2,903名 |
| 賛助会費 | 8,000,000 | 12,000,000 | 4,000,000 | |
| 事業助成金 | 15,000,000 | 15,000,000 | 0 | 宗務庁より |
| 協賛金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 「そうせい」広告料 |
| 雑収入 | 13,314 | 29,697 | 16,383 | |
| 前年度繰越金 | 1,967,186 | 918,803 | △1,048,383 | |
| 合計 | 27,400,000 | 30,400,000 | 3,000,000 | |

支出の部

| 項目 | 前年度予算額 | 本年度予算額 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 事業費 | 18,100,000 | 19,700,000 | 1,600,000 | |
| 研修費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 禅の集い中央研修会等 |
| 総合企画事業研修費 | 4,200,000 | 3,000,000 | △1,200,000 | 禅文化学林を含む |
| 広報 | 9,700,000 | 12,500,000 | 2,800,000 | |
| 青少年教化研究費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| ボランティア研究費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| 授戒会研究費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| パソコン通信研究費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| 運営費 | 9,250,000 | 10,650,000 | 1,400,000 | |
| 会議費 | 7,400,000 | 8,700,000 | 1,300,000 | 会議費、交通費等 |
| 事務費 | 300,000 | 400,000 | 100,000 | 事務通信費等 |
| 渉外費 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 | 全日佛青、管区大会等 |
| 雑費 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 予備費 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 合計 | 27,400,000 | 30,400,000 | 3,000,000 | |

以上のとおり、予算を提案いたします。

平成14年６月17日
全国曹洞宗青年会 会長　池上　幸秀
会計　橘　昭弘

## 平成13年度特別会計（ボランティア基金）報告

平成13年４月１日～平成14年３月31日

**収入総額　一金　3,898,351円**
**支出総額　一金　1,112,668円**
**差引残額　一金　2,785,683円**

収入の部

| 項目 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|
| 前年度繰越金 | 3,785,231 | |
| アフガン難民救援募金 | 112,668 | 禅文化学林東北大会にて |
| 雑収入 | 452 | 預金利子 |
| 合計 | 3,898,351 | |

支出の部

| 項目 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|
| アフガン難民救援金 | 1,112,668 | ＳＶＡアフガン難民救援募金へ |
| | | |
| 合計 | 1,112,668 | |

残額2,785,683円を次年度に繰り越します。平成13年度一般会計決算、特別会計決算を以上の通り報告いたします。

平成14年６月17日
全国曹洞宗青年会 会長　池上　幸秀　㊞
会計　橘　昭弘　㊞

## 会計監査報告

平成13年度全国曹洞宗青年会一般会計及び特別会計について、平成14年５月14日に曹洞宗宗務庁３階松の間にて、会長・副会長立会いのもと、諸帳簿・証書・関係書類を監査したところ、収入・支出残金ともそれぞれ合致し、適正かつ正確に処理されていたことを報告します。

平成14年６月17日
全国曹洞宗青年会 監事　日吉　一如　㊞
監事　滝　道学　㊞

## ご挨拶（要旨）

教化部長　壇上　尚道　老師

全曹青の総会にあたり、ご挨拶申し上げます。

本日の集会に参列いたしまして、この全曹青の組織が、とても内容のある組織に育っていることに喜びを感じました。

また、全曹青が各地でボランティア活動に取り組み、立派に活動している姿を有り難く感じております。

私も、若い頃には、全国各地に開かれている禅の集いや、眼蔵会などの青少年の教化に情熱を注いだ時期もありました。寝食を忘れて励めるのが今の皆様の若い時代です。

今、宗務庁では、全国の青少年教化指導者研修会等に、ボランティア活動やカウンセリングをカリキュラムに取り入れて人材養成に取り組んでおります。そして、宗門を担う若い僧侶の育成を期待しております。

どうか、全国より参集いただいている全曹青の若き宗侶の皆様には、僧侶として、社会におけるご活躍を祈念して挨拶とさせていただきます。

【講演会　抄録】

# 『正法眼蔵八大人覚』撰述のおこころ

駒澤大学教授　河村　孝道　先生

去る6月17日、全国曹洞宗青年会総会を開催いたしました。総会に引き続き、講師に駒澤大学教授の河村孝道先生をお招きして中央研修会を開催しました。講演の要点のみを箇条書に抄録し紹介いたします。

① 全曹青の大遠忌事業の一環として、会員有志が進められている『正法眼蔵八大人覚』書写・護持の浄行は、大遠忌の統一スローガン「慕古心」の実践という基本理念からは、大きな意義をもつものであること。

② まず『正法眼蔵』の成立、編集論について要説し、『正法眼蔵』は、佛々祖々単傳せる佛正法を、道元禅師による実参実究の宗眼を通して、広く万人の安身（心）のよるべを説示されたものであること。撰述としては、百巻を意図されたが、重病の為、命終を覚られて建長五年（1253）正月、佛陀涅槃時の遺教に随順して、これを普衍して示されたのが『八大人覚』であること。『八大人覚』が『大乗義章』の「八大人覚義」に依拠して、これに道元禅師が補足されたこと。さらに面山瑞方は「行持」の大綱は八大人覚であること。また瑞岡珍牛が、本巻に対する先人の所懐と珍牛自身の感懐を紹介し、ついで道元禅師直筆と伝える『佛遺教経』（總持寺蔵）、永光寺所蔵の瑩山禅師附点本の紹介と、今回会員有志が書写するに当って使用するテクストとの関係について付言し、『佛遺教経』に於ける「八大人覚」前段の七項目の要点をも解説。

③ 旧草75巻本の意義と、新草12巻本の発見に至る歴史的事情、及びその撰述と編集論上の問題点、両本との関係等について付言。ついで『八大人覚』の12巻本最後巻となった経緯。本巻の奥書に於ける懐奘禅師の識語（秘密正法眼蔵本書写）の紹介と、その識語の意味する所についての見解。識語に、禅師を慕う道心者に、懐奘禅師が願った如くに、本巻を書写・護持し実修実證することの重要性に、大遠忌奉修のこころを感得した全曹青会員の書写の浄行を、改めて高く評価することに言及。

④ 少欲・知足・楽寂静・勤精進・不忘念・修禅定・修智恵・不戯論の八大人覚は、大人の佛たる八種の覚行で、その一行に各八行を摂した道環究尽の行で、一行が佛行・行佛の威儀（努めるありかた・ありよう）に外ならず、この事を明確に自覚すべきことの指摘。仏に至る方法的手段としての染汚なる行ではないことを強調。

⑤ 奥書・識語の懐奘禅師の言、「道元禅師を恋慕し奉らん人は、必ず此の十二の巻を書して之を護持すべし」の如く、元来学佛者に於いては、五種法、乃至七種行人の重要事が説かれる。即ち佛経の受持・読誦・解説・書写（法華経法師品）、或いは受・持・読・誦・正憶念・修習・書写（『正法眼蔵見佛』）で、懐奘禅師の言も、これに基づいての書写護持の願いであり、勧めでもあったこと。書写の浄行は、他の一切の行を摂しての道環の行として重要であるとの指摘。

⑥ 八行が仏たることの覚行であるが故に、その書写、解脱、修證に当っての用心は、佛祖の示す「大地有情同時成道」、「尽十方界真実人躰」（「真実人躰」とは佛慧命のこと）を基本的視点として各自に自覚されるべきこと。それは具体的には、正身端坐（只管打坐）を基軸、基底としてこそ、宗意に立脚せる書写参究のあり方である、と指摘。

⑦ 道元禅師の『正法眼蔵』御撰述の基本、その意図する処は、常に「不染汚の修證」たる打坐を基軸としてあったことを、宗侶として明記すべきことを再三強調し、曽て六祖慧能の行持が道元禅師によって「一生出世度人説法するに、石臼を背い歩りき」と称えられたこと。これを、インドのガンジーが、その独立運動の寸暇ない奔走の中で、身心の基軸を、自らは常に洞窟（道場での瞑想行）を背負っているとの言葉に照応させて、ここに『八大人覚』撰述の禅師の遺誡のこころを見るべきことを指摘し、“慕古心”の意図する本義は“只管打坐”の修證を離れてはなく、それが吾々のゆるぎなき座標軸であり、そこから、佛祖の、道元禅師のおもいを、いま、ここ、に宣べ行じゆくことを以て締めくくり、最後に『八大人覚』の道元禅師のお言葉、「いま（八大人覚）習学して、生生に増長し、かならず無上菩提にいたり、衆生のためにこれをとかむこと釈迦牟尼佛にひとしくしてことなることなからむ」と結語。

# 出向者紹介

ON AIR

## 総合企画事業研修委員会

委員長
森　道輝
埼玉県第2

副委員長
多飯宗道
岡山曹青

委　員
加藤慈峰
愛知県第1

委　員
村上有紀
大分曹青

委　員
大石光昭
四国地区(香川)

委　員
清水孝雄
北海道第1

委　員
芦田一元
兵庫県第2

委　員
黒柳博仁
長野県第1

委　員
新保秀幸
福島曹青

この春、当委員会事業としての花まつりキャンペーンの窓口の仕事をさせて頂きました。

各御寺院様のご要望の多様さを垣間見るとき、それぞれの地方の特色、気候の違いなどから、様々な花まつりの行事の行われ方があることが、何かの分布図を広げて見ているかのごとく良くわかりました。

御寺院様お一人お一人の、花まつりに対するお考えや、どのようなかたちでそれぞれのお檀家さんに、この花の種をお渡しすればよりよい布教につながるか、また喜んでいただけるか、といったお気持ちなども少し分かったように思います。

このことは、私個人の布教教化に対する考えや取り組み方にも、良きアドバイスの声として胸に響くものがあり、誠に有難く思えました。

（大石光昭）

## 広報委員会

委員長
河村康秀
北海道第1

事務局
千葉琢道
いずも曹青

参　与
東井千明
岩手曹青

委　員
大熊真龍
北海道第1

委　員
奥山千成
北海道第1

委　員
中町天慧
北海道第3

広報委員を拝命し早一年。最初は全くの白紙からのスタートでした。広報委員会の主な業務は、全曹青と会員、一般の方々を結ぶための広報誌「そうせい」を発行することです。編集作業は大変なこともありますが、何もないところから広報誌という形に仕上がっていくプロセスにはやりがいを感じております。

特に読者の方々から貴重なご意見・感想などを戴いたときは法悦もひとしおでした。

これからも御本山における「青年会の日」、禅文化学林等、全曹青の行事は目白押しですが、精力的に取材のに取り組み、「会員の会員による会員のための広報誌」たるべく皆様のお役に立てたら、と思っておりますので「そうせい」をよろしくお願い申し上げます。

（大熊真龍）

## 青少年教化研究委員会

委員長
阿部光裕
福島県常円寺

委　員
黒田泰弘
栃木県光真寺

委　員
阿部正機
新潟県観音寺

委　員
工藤公仁
山梨県吉祥寺

委　員
大室俊英
福島県三乗寺

委　員
日比徳法
愛知県教福寺

委　員
岡本大英
福島県福源寺

全曹青の布教研究委員として伝導句集の制作に、携わるようになり早一年が過ぎようとしている。「現代の青少年に共感してもらえる想いを、、解り易い言葉で」を合言葉に、阿部委員長のもと、試行錯誤を重ねてきた。

青少年に興味をもたせる言葉を創るということは簡単なことではないことが、よく解った。相田みつをさんは、本当にすごいと思った。今の若い人たちは何に興味を持ち、何を考えているのだろう。どうすれば心が通い合う言葉を出せるのだろう。難しく考えれば考える程、言葉は出てこない。メモ帳をいつも持ち歩くようにした。（何時いい言葉が思いつくかもしれない）作った時は、結構いい物が作れた気がするが、後で読み返すとたいした事はない。そして自分の発想に愕然とするのである。

さて、今まで青少年に向けた活動は大変少なかった。しかしこれからの世界を背負っていくのは、若い人たちである。髪を金色に染め陰湿ないじめ色々な人とぶつかり合う。そんなイメージを持ちやすいが社会への不安、不満に対して彼らは彼らで悩み、苦しみ何かを主張しているのである。そんな若者の心に少しでも響けば、また、共感してもらうことが出来れば、この伝導句集の活動は大変意義深いものとなるだろう。

（工藤公仁）

# 各委員会出

ON AIR

## ボランティア研究委員会

委員長
奥野昭典
宮城曹青

副委員長
舛田豊範
四国地区（愛媛）

委　員
鈴木理元
愛知県第３

委　員
山田海音
静岡県永元寺

委　員
有徳郁城
大分曹青

庶　務
中田直樹
山梨曹青

委　員
長谷川瑞学
北海道第２

委　員
掃部克重
京都曹青

委　員
東　俊介
山口曹青

委　員
荒木玄修
山口曹青

『第14期』のスタート。初めての全曹青の委員となり不安の気持で、何事にも心配でした。「一体何を研究するのかと」思っていたところ、１つの企画がうまれました。それは『ボランティアガイドブック（仮称）』です。

各単位曹青のボランティア活動を調査し、紹介していくことにしました。活動は様々であり、今後活動を始められる青年会や団体には、非常に参考になるものと思います。いや、これをヒントに新たな活動をして頂けたらと思います。完成間近、お楽しみに！

残り１年間、全曹青、委員会で不安から経験、経験から自信につながるものを見つけていきたいです。

（鈴木理元）

## 授戒会研究委員会

委員長
高辻康文
兵庫県第２

委　員
秋　央文
福島曹青

委　員
荒木道宗
北海道第１

委　員
松本俊幸
千葉曹青

委　員
逸見智孝
岐阜曹青

委　員
甲斐之彦
大分曹青

委　員
清水了祐
宮城曹青

今期の活動は、これまでの議論を具体的な形にするべく、その殆どの時間を布薩会の奨励と実践に費やしてまいりました。その代表的な例が、今期の主要事業でもある『布薩会の手引き』作成であります。多少我田引水の感は否めませんが、今ある授戒会を宗義的に機能させる意味でも、この布薩会にスポットを当てた事は意義ある判断だったと自負しています。

我々の次なる課題は、出家・在家共に行じる布薩会という形を今以上に鮮明に打ち出していく事にある様に思います。そこには戒弟各位に対するアフター―ケアとしての布薩会よりも、出家・在家が共に行じる新しい布教教化のあり方が敷衍されているものと感じます。

（秋　央文）

## パソコン委員会

委員長
小島宗彦
佐賀曹青

委　員
大森篤史
埼玉第１

委　員
佐藤泰元
東三河

委　員
大野泰生
山口曹青

委　員
宮崎俊輝
四国地区（愛媛）

委　員
晴山俊英
岩手曹青

委　員
金子宗元
秋田曹青

委　員
高垣晶敬
北海道第１

委　員
千万孝道
福井曹青

当委員会（発足当時は部会）を立ち上げてから４期が経過しました。全国という組織の性格上、執行部・各委員会にとって、どうしても交通費が活動の足枷となります。そこで発足当初の理想は、全国の相互連絡及びオンライン会議でありました。振り返るとインターネットによる情報発信は実現しましたが、まだ当初の念願を実現するには時間がかかりそうです。しかしながら、当委員会は率先してオンライン会議の実績を重ね、またようやく各管区に委員が配置されつつあります。従って各管区から単位曹青へのオンラインが確保できれば、それなりの機能を果たすことが期待されます。今後、当委員会は独立した委員会でありつつも、全曹青そのものの命脈を握ることになるかと思います。最近の活動を通じて、そんな予感を抱いたということ、それが私の一番の感想ということになるでしょう。

（晴山俊英）

ON AIR

## 全曹青委員会総会開催

平成14年７月17日㈬、曹洞宗檀信徒会館において平成14年度第一回委員会総会が開催されました。当日は、全国各地より約50名の全曹青執行部、各委員が結集し、13時より各委員会ごとに分かれ委員会、『委員会総会』が開催されました。開会に先立ち、池上幸秀会長より開会の挨拶がありました。挨拶の中で、各委員会のメンバーの横のつながりを強化することにより全曹青事業のより円滑な運営が図れること、委員同士の相互交流により新たな刺激が生まれ、より活発な活動が行われていくことの大切さを訴えました。

総会では、まず、各委員の自己紹介がなされ引き続き各委員の事業報告が行われました。次に総合企画研修委員会副委員長「青年会の日」担当多飯宗道師より、青年会の日についての説明がなされ各委員により最終確認がなされました。引き続き、今秋開催される予定の「禅文化学林」第二日目に行われる「分科会」についての中間報告が行われ、全体で討議されました。続いて本部事務局より各委員会における「会計処理と議事録作製」についての指針が発表され、全曹青委員会の会計事務の統一化を進め、普遍性を持たせると共に更なる透明性が確保できるように会計報告を作製するよう要請がありました。

## 東大寺大仏開眼1250年千僧法要のお知らせ

平成14年10月19日午後２時より（午後１時半集合）奈良県東大寺様におきまして東大寺大仏開眼1250年慶讃「千僧法要」が行われます。国家鎮守の目的で建立された東大寺は、我が国の仏教国としての礎といえます。前回の1200年慶讃千僧法要の際には当会を中心として曹洞宗から約500名の参加がありました。本年は当会主管の慕古事の関連もあり、会員各位にはお忙しいこととは存じますがご協力、ご参加をお願いいたします。尚、東大寺大仏開眼1250年慶讃「千僧法要」についての詳細情報は全日本仏教青年会ホームページhttp://www.jyba.comに掲載されております。本件に対するお問い合わせは全曹青事務局までファックスまたはＥメールにてお問い合わせ下さい。

全曹青事務局長　高原　淳尚
FAX 08477－4－0231　Eメール a.tkhr@guitar.ocn.ne.jp

※参加申込に関するお問い合せは８月末日迄にお願い致します。

寺院用仏具・仏壇・製造販売
曹洞宗梅花流法具販売指定店

HO-KO

放光（ほうこう）

本店・工場　〒940-0825 新潟県長岡市高畑町617番地　☎(0258)33－5644
新潟店　〒950-0941 新潟市女池２丁目２－11　☎(025)280－1550
川越店　〒350-0036 川越市小仙波２丁目20－１　☎(0492)27－7666
高崎営業所　〒370-0046 群馬県高崎市江木町1179－２　☎(027)324－3721
長野営業所　〒380-0911 長野市稲葉1980－１　☎(026)222－3811

ON AIR

# 全曹山 慕古寺首座寮告報

— 各事業担当者から —

## 東司掃除の実践運動

慕古事業は「東司掃除の実践運動」「托鉢」「青年会の日」「禅文化学林」の四つの柱により展開されます。会員の皆様にはそれぞれできる形で御参加いただきたいと思います。このうち「東司掃除の実践運動」は高祖道元禅師七百五十回大遠忌に因み計画されたものではありますが、継続的に行われてこそ意義があるものです。第十四期執行方針にもある通り家庭から仏の教えを見直していこうとするもので本山での東司掃除はその一部分に過ぎません。また、会員本人だけの事業ではなく寺族ならびに檀信徒さらには青少年の方々にこれを機会に実践していただこうというものです。私達はその機会を作り出す担い手になるわけです。普段掃除をしない人にあっては特にトイレ掃除は勇気がいることかもしれません。青少年たちにとってはトイレに限らず掃除をすること自体がまれになっているのが現実でしょう。道元禅師の恩徳に酬いるひとつの機会として会員諸師も東司掃除の実践を広げてまいりましょう。

総合企画委員会 委員長
慕古事業特別推進会議 議長　森　　道輝

## 青 年 会 の 日

四月の初め、遠忌団参で永平寺にお参りしました。「雲水さんの立ち居振る舞いが素晴らしかった」と、透き通るような表情をしてお檀家さんが口をそろえて言われます。私は、胸の中で忘れかけていた僧堂の聯の文句を十数年ぶりに思い出しました。

道元禅師は、「仏道は人々の脚跟下なり」とお示しです。

不老閣猊下は、「坐禅をして背筋を伸ばせば、心がまっすぐになる。心がまっすぐになれば、ものの見方が正しくなる。ものの見方が正しくなれば、正しい行いができる。」と言われます。

750年間、「仏祖の誓願（おもい）」は連綿と受け継がれてきました。私たち青年僧は、正法眼蔵「八大人覚」の書写を通し、また、永平寺の報恩拝登を通してこれを実践し、大遠忌の年を意義あるものにして、それをつぎに伝えていきたいと思います。

全国の青年僧の皆様、どうぞふるってご参加ください。

総合企画研修委員会 副委員長
青年会の日 担当　多飯　宗道

## 禅 文 化 学 林

今回の禅文化学林は来る11月27、28日の両日に渡り駒澤大学記念大講堂、及び東京グランドホテルを会場に開催し、平成14年全曹青慕古事業の一環として開催することになっております。

内容につきましては、「仏祖の誓願（おもい）」をテーマに、駒沢大学学長大谷哲夫師と金子みすゞの研究家でもある作家の矢崎節夫先生の対談、映画は日活株式会社のご協力を得て創立九十周年記念作品の劇場映画「AIKI」を公開に先駆けて上映いたします。それらを通して、今、我々が果たすべき責任や取るべき行動を再確認し、自覚できるようなものにしたいと考えております。

また翌日の分科会では、前日の対談、映画の上映を受けて、現在我々が直面する問題点をより具体的に掘り下げる会議を予定しております。

日常的にそれぞれの地域で様々にご活躍、ご多忙のこととは思いますが、日々の研鑽によって得られた経験を持ち寄り、互いに刺激しあえるような事業にさせていただきたく多くの皆様のご参加をお待ちしております。

全曹青 副会長
禅文化学林 担当　白井　応隆

◆営 業 品 目◆
寺院専用各種記念品・慶弔
御布教用品・お供物品・その他寺院用品全般

「誠実」日本一を貫く
和顔愛語の和顔堂
㈱和 顔 堂　0120−7676−00
〒153-0064 東京都目黒区下目黒３−14−14

和顔堂の基本理念
人生は愛を刻む旅であり
企業は誠実を貫く旅である。

## 第26回東海管区曹洞宗青年会大会

去る５月15・16日両日に渡り、第26回東海管区曹洞宗青年会大会が、岐阜市において行われました。

一昨年、曹岐青理事会の席上、大会には何をすべきか提案させていただいたのが始まりでした。

何回かの理事会ののち「平成14年（今年）は道元禅師750回大遠忌正当の年、道元禅師の思いに立ち返って托鉢をしたらどうか。」こうして今大会が、高祖道元禅師750回大遠忌報恩アフガン難民救済托鉢として行うことになりました。

16日托鉢当日は小雨の振る中、東海管区曹青会員80余名、２班にわかれ岐阜駅を出発。２時間にわたり市内を托鉢して歩き、市民の皆様の善意、また参加いただいた会員諸宗師の善意により、14万円余りの浄財をいただくことが出来ました。

この浄財につきましては、SVAを通してアフガン難民の方々の義援金とさせていただきます。

最後に、公務御多忙の中あいさついただいた全曹青池上会長を始め、出席いただいた各曹青会員の皆様には御協力いただき、大会を成功させることが出来ましたこと、ここに厚く御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

（大会実行委員長　逸　見　智　孝）

## 第21回曹洞宗北海道青年会滝川大会

先般、５月27日・28日にわたり、曹洞宗北海道青年会滝川大会が開催されました。会場は滝川市内のホテルとし、開講諷経に始まり平成14年度通常総会、記念フォーラム、懇親会をおこないました。

当日は会員参加者119名に加え北海道選出宗議老師、管区長老師、教化センター統監老師、また、全曹青会長をお迎えいたしました。記念フォーラムでは、「ネットワーク確認」と題してパソコン、プロジェクターを利用し、インターネット体験をしていただきました。会員からの評判も上々で、大会実行委員の面々も驚くほどに盛況に終了することができました。

これもひとえに会員諸師、関係諸老師のご尽力あってのことと感謝の意を厚く感ずるところでございます。

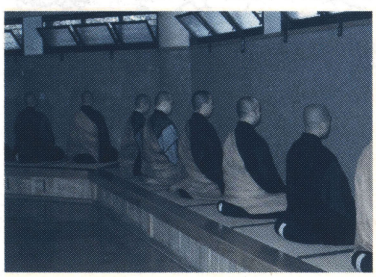
ここに、御礼の言葉を申し上げ、大会のご報告とさせていただきます。

（大会長　芳　村　元　悟）

## 第32回九州曹洞宗青年会長崎大会

６月５日～６日、第32回九州曹洞宗青年会長崎大会を佐世保市西方寺（住職・須川法昭老師）様をおかりして開催いたしました。九州各県曹青会の皆様をはじめ、明光寺専門僧堂、晧台寺専門僧堂の雲水さんを加え、多数のご参加を賜り深く感謝申し上げます。有り難うございました。この長崎大会は高祖道元禅師七百五十回大遠忌正当のため、「行持報恩・一日の行持これ諸佛の種子なり」の思いを掲げて一泊二日の行持研修をさせていただきました。

いつもより堅苦しい大会内容ではありましたが、坐禅、総会、講演、朝課、行鉢飯台などの行持を通し、本堂坐禅堂を埋め尽くす程の参加者と共に一つ一つ修行させていただく中、自然と心が整い良き交流を深めることが出来たと確信しております。講演では、長崎県をアピールさせていただくためにも、県内でご活躍の諫早天佑寺住職・須田道輝老師、大村禅心寺講師・金子真介老師のお二人にお願いし、私たち青年僧に対し、厳しくも本音で励ましのお言葉を頂戴いたしました。



最後になりましたが、会場の西方寺様には、この大会のため多大なるご協力を頂き心より厚くお礼を申し上げます。また、九曹会長をはじめとする九曹執行部の皆様、各県の理事の皆様、御多忙の中ご参加いただきました皆様、影ながらご支援を頂きました方々に深く感謝申し上げ、大会無事円成のお礼とさせていただきます。ありがとうございました。そして、本大会中いろいろと不備な点が多々ございましたこと、どうぞお許し下さいませ。

（大会長　宮　崎　候　基）

お寺散策

# 崇福山 安楽寺

## 国宝八角三重塔のお寺

国宝 八角三重塔

### 信州の鎌倉

長野新幹線上田駅から、上田交通別所線で三十分。「信州の鎌倉」別所温泉駅に着く。駅をおりて温泉街を一キロほど歩いたところに安楽寺はある。長い参道の途中に弁天堂を見ながら歩を進めると中門、さらに山門を抜けると十六羅漢堂、坐禅堂が見えてくる。右には大きな鐘楼堂。右奥に庫裡、正面には北条氏の紋所「三ツ鱗」が大屋根に輝く本堂がある。ここまでで見応えは十分だが、坐禅堂と本堂の間からさらに拝観経路が続く、安楽寺開山「樵谷惟仙（しょうこくいせん）大和尚」、二世「幼牛惠仁（ようぎゅうえにん）大和尚」の二人の木像（重要文化財）を安置する「傳芳堂（開山堂）」がある。安楽寺が創建されるしばらく前、幕府が置かれた鎌倉に、中国で修行して帰国した禅僧「蘭渓道隆（らんけいどうりゅう）大和尚」が建長寺を開いた。道隆和尚が帰朝した時に同行していた惟仙和尚が、ここ塩田町に安楽寺を開いた。またこの時、惟仙和尚と一緒にやってきた帰化僧が、惠仁和尚で惟仙の後継者となった。今から約七百年前のこの時代に、広くアジアの国々を結んだ人と文化が、信州にまで及んでいたということは本当に驚きである。

鐘楼堂（手前）・本堂（奥）

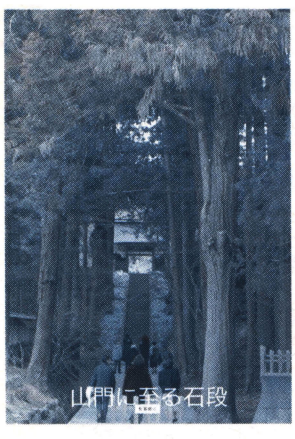
### 「唐様」の国宝「八角三重塔」

「国宝の八角堂かぁ。思ったより大きいなぁ」杉の古木の立ち並ぶ坂道をさらに上がって行くと、そばにいた観光客グループから声が上がる。日本に一つしかない純唐様の国宝「八角三重塔」がそびえる。それは日本に唯一といわれる「唐様（からよう）」の古塔だ。「唐様」とは「中国風」ということで、安楽寺が13世紀の終わりごろ（鎌倉時代）に創建され、中国との関係の深いお寺であることを物語っている。

「老いの眼に　観る日のありぬ　別所なる　唐風八角三重塔」窪田　空穂。

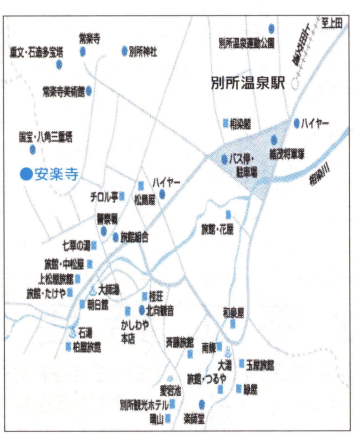
### 今を生きる寺

現在の御住職は若林恭英師、お話によると現在もっとも力を入れておられるのは、「今を生きる寺」にしたいということであった。地元の地域社会にとけ込み皆と共に布教強化、地域の活性化を実践するように勤めているという。寺には「安楽友の会」なるものがあり、地元の人が集いボランティア活動等を実践しているとのこと。八角堂の入り口のところで、手作りの木杖「安楽つえ」を参詣者に買ってもらい、それで得た浄財をシャンティ国際ボランティア会等を通して国際貢献に役立てているという。「ある寒い冬の早朝に、毛糸の帽子をかぶってせっせ、せっせと空き缶やゴミを拾っている方がいたので、おはようございます！と声を掛けたら安楽寺の方丈様だったのでびっくりしたよ。安楽友の会？知っとるよ。老人ホームとかで芝居などもやってるみたいだよ。」とは帰りのタクシーのなかでの運転手さん談。伝統的名刹という「静」に対し、今を生きる寺「動」が感じられた。


山門に至る石段

### 清少納言の枕草子にも登場する名湯別所温泉「美人の湯」

別所の名は、平安時代に貴族の別荘があったことから名付けられている。各旅館には内湯があるが、外湯は、真田幸村の隠し湯「石湯」、木曾義仲が葵御前を連れて逗留したと新・平家物語に書かれた「大湯」、天台宗別格本山の常楽寺を建立したと伝えられる慈覚大師がお入りになったという「大師湯」がある。タオルを下げ外湯巡りへ繰り出すのも一興である。



安楽寺友の会による
老人ホームの芝居

### アクセスデータ

- 交　通：長野新幹線上田駅から上田交通別所線に乗り換え「別所温泉駅」で下車。徒歩10分。
- 所在地：長野県上田市別所温泉2361
- 電　話：0268-38-2062
- 拝観料：大人100円、中学生以下50円
- 拝観時間：日の出～日没
- 休　日：年中無休
- 駐車場：小型車のみ

◆今話題のインターネットとは◆

# インターネットの世界をのぞいてみよう！〈20〉

行事案内や通達文書など郵送費削減や情報伝達のタイムラグ解消のためにいろんな方法で対処している青年会があります。活用次第では、災害時の緊急情報の伝達や急を要する伝達事項などの手段として必須アイテムとなるでしょう。

今回は携帯電話端末を使った情報伝達を行っている青年会を紹介いたします。

## 携帯電話端末を使った情報伝達

私達は「長崎県北曹青会」と申します。長崎県第１宗務所の第５と第６教区（佐世保市・平戸市・松浦市・北松浦郡）内で組織しています。昭和42年に「緑陰禅の集い」をきっかけに正式発足されましたが、それ以前から毎月一回の月例会（晩課・夜坐・親睦会）を欠かさずに行ってきました。その歴史は40年にもなろうかと思われます。ほんの一昨年前までは、毎月庶務の担当者が10数名の会員にハガキを使って月例会や、諸案内を出していました。

そんな折り、各会員が使っている携帯電話に着目しました。いろいろ検討を重ねた結果、NTTDoCoMoのiモードで行っている「フレンドメール12」というサービスを使うことにしました。まずその時点でiモードが使えない会員や携帯を持っていない会員に対しては、一定額の補助金を出して機種変更や新規契約を促し、とにかく半ば強制的に、この通信事務の簡素化と、相互でよりリアルタイムな情報受発信を目論んだのです。お陰で今では県北曹青会にはなくてはならないシステムになりました。

ただこの「フレンドメール12」は12名までしか参加できません。なんとか今のところは都合良いのですが、会員が増えた場合には、考えないとなりません。グループを複数にするか、他のメーリングリスト等に乗り換えるか？しかし「フレンドメール12」は全員一斉送受信も、任意の個別送受信にも対応しており、大変応用が利きます。誰が参加しているかも一目で確認でき、無料ですが、不要な広告等も一切入りません。とにかく現時点で、会の規模とニーズにぴたりと合致したサービスだと思っています。

なにはともあれ、庶務の担当者の精神的・肉体的・時間的な負担が大幅に減り、尚かつ、リアルタイムに意志の疎通ができるようになりました。会の運営も、会員相互の気持ちの繋がりも、以前にも増して綿密になったと自負しています。多少の投資がありましたが、先々では経費の削減にもなって行くでしょう。

参考までにこの「フレンドメール12」への入り方を記しておきます。

iモードにて（iMenu）→（メニュリスト）→（メール）→（iモードメールplus）→（フレンドメール12）。そこでグループ設定者は、グループ名とパスワードを設定し、参加者はそれに基づいて各々自分の携帯電話からアクセスします。一度設定がすめば、（マイメニュー）に登録し、いつでも簡単にアクセスできます。

主に行われている伝達事項は、「月例会」の案内・告知ですが、長年にわたり続けてきた、県北曹青会「月例会」も現在では、毎月会員の寺を回り持ちで会場に使い、18時止静夜坐・本尊上供・研修会（年毎に計画）・親睦・開枕、５時半振鈴・暁天坐・略朝課・行粥（応量器）・７時解散という差定が定着しました。ですから携行品は、直とつ・袈裟・応量器・寝袋（冬は毛布も）・珍味・銘酒ということになっています。


禅門引導香語集大全

月叟語録

吉留進堂和尚遺録

本書は、詩心玲瓏にして道眼円明なる著者の生涯作品を集大成したものである。

禅門待望の新式和文の引導香語集として、すでに出版された三冊の香語集に、未発表の作品数十篇を加えでまとめられた。香語はいずれも伝統の型をふまえ、前人未踏の境地を開拓したもので、平易にして格調が高い。全編宗意透徹された作品群であり、詩僧である著者の禅の風光が現出した禅詩文学の珠玉集である。

「語録」の刊行にあたり、香語作品にはそれぞれ脚註が綿密に付けられ、読者の便宜が図られている。まさに新時代の香語集として寺院必携の良書であり、諸賢青年僧の香語作成の参考書として推奨する。

頒価15000円
（送料1000円）

B5判特装
本文787頁
総ルビ付

申込先　〒327－0012　栃木県佐野市大蔵町2975
興福寺語録刊行会
（現金書留または振替用紙でお願い致します。振替口座00160－1－117531）



この道一筋
歴史ある日本の伝統建築を
守り続けて90余年。
日本古来の伝統の技を伝承する、
魚津の設計と施工。

神社・仏閣専門建築
株式会社 魚津社寺工務店
〒454-0004　名古屋市中川区西日置二丁目12番20号
TEL(052)331-3080・0854　FAX(052)332-3540

世界からの仏教Ⅰ　アメリカ編

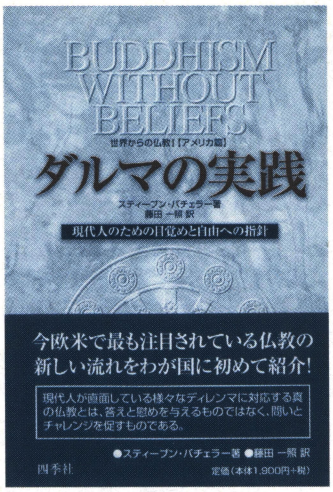
# ダルマの実践

## ―現代人のための目覚めと自由への指針―

本誌『そうせいインターナショナル』でおなじみの藤田一照師訳による「ダルマの実践」が出版されました。西洋的アプローチで書かれた本書は、我々青年僧にとっても刺激的なものであり、これからの曹洞禅のグローバル化を考えていく上で、本書のようなアプローチを認識しておく必要があると思われます。著者の真摯な問いと考察は今の我々が見失いつつある最も大切なものなのかも知れません。

**「苦悩はあまねく知り尽くしなさい。その原因は取り去りなさい。苦悩から解き放たれることを体得しなさい。そしてそこに至る道は修養すべきものである」とブッダは説いた。**

**［本書第一部第一章「目覚め」より引用］**




スティーブン・バチェラー　著
藤田　一照　訳
四六判／上製／286頁
定価　1,900円
（送料・税別）


問い合せ先
株式会社　四季社
〒171-0021　東京都豊島区西池袋5-26-16　CHIBAビル3F
フリーダイヤル　0120-556217　FAX 03-5995-2181



## ご住職の退職金制度を見直されませんか？　第一生命

お寺のご住職の「退職金制度」をご準備されている宗教法人は、まだ少ないようです。
宗教法人「退職金制度」を確立することは、宗教法人の永続性・スムーズな承継等の面からも必要になってくるのではないでしょうか？
そこで、今回、第一生命では全国約500名のFP（ファイナンシャル・プランナー）が皆様方それぞれの状況に応じたアドバイスをさせて頂く「無料個別相談」を実施させていただく事といたしました。原則として、全国何処でもご利用頂けるコンサルティングネットワークです。ご希望される方は、下記申込書ご記入の上FAXまたは、下記電話番号にお電話いただきますようお願いいたします。

**ご連絡には１週間ほどお時間を頂く事になるかと思いますがあらかじめご了承ください。**

### 無料個別相談申込書

ご相談内容は、上記テーマに限らず相続対策・ペイオフ対策等幅広く承ります。お応えさせて頂くのは第一生命FPとご相談事項に応じた専門家です。お気軽にお申し込み頂きますようご案内申し上げます。
◎原則、無料相談になりますが、ご相談事項の実行にあたっては実費負担となる場合がございますのでご了承願います。
◎ご相談されたい項目を下記相談内容よりお選びください。（下記以外のご相談もお受けします）

| ①宗教法人からの退職金支給 | ②生命保険を活用した相続対策 | ③土地活用による相続対策 | ④　そ　の　他 |
|---|---|---|---|

第一生命 総合FPコンサルティング部 行　　FAX番号（03）5224－3487

| | | | |
|---|---|---|---|
| 日時：　　月　　日（　） | 時を希望します。 | | |
| 相談内容　１，２，３，４ | 相希望相談項目に○をして下さい。（その他詳細 | | ） |
| 寺　院　名 | | | |
| 御　芳　名 | | 役　　職 | |
| 御電話番号 | （　　） | ＦＡＸ番号 | （　　） |
| 御　住　所 | | | |

◆上記に関するお問い合わせ
第一生命 総合FPコンサルティング部　TEL：(03)5221－3984 までご連絡ください。

# 賛助会員御芳名

平成14年3月〜14年5月

東京都　3 俊朝寺様　17 竜沢寺様　25 慈眼院様　47 玉鳳寺様　60 陽寿院様　73 龍泉寺様　78 青原寺様　79 保善寺様　87 観音庵様　90 梅岩寺様　94 大円寺様　99 長龍寺様　105 鳳林寺様　107 天桂寺様　110 松林寺様　113 長泉寺様　141 長泰寺様　175 泰宗寺様　230 栄寿院様　241 簗田寺様　252 観蔵院様　257 広慶寺様　259 永林寺様　269 信松院様　300 龍田寺様　342 周慶院様　343 向雲寺様　371 円明寺様　400 桐ヶ谷寺様　406 全昌院様

神奈川県第一　280 福昌院様　290 瑞雲寺様　330 眼蔵寺様　346 香林寺様　359 滝門寺様　362 吉祥院様　373 興禅院様

神奈川県第二　2 西有寺様　9 万徳寺様　10 随流院様　14 伝心寺様　15 陽光院様　23 光永寺様　27 東林寺様　80 福泉寺様　81 貞昌院様　87 黙仙寺様　110 興全寺様　119 泉秋寺様　147 宗祐寺様　150 定方寺様　151 正泉寺様　168 源養寺様　388 慈照寺様　394 長尾寺様

埼玉県第一　3 円通寺様　14 守光院様　24 千手院様　59 長龍寺様　98 千手院様　106 光厳寺様　107 松源寺様　122 天王院様　123 正明寺様　138 心鏡院様　161 建福寺様　182 神仙寺様　390 龍渕寺様　446 幸春院様

埼玉県第二　203 養寿院様　207 蓮光寺様　213 泉福寺様　248 長泉寺様　320 西光寺様　325 金沢寺様　331 曹源寺様　368 東昌寺様　478 大忠院様　575 大願寺様

群馬県　3 龍海院様　5 源英寺様　77 竜門寺様　83 常仙寺様　85 東善寺様　86 大森院様　89 竜昌寺様　110 常林寺様　119 長徳寺様　142 建明寺様　194 善宗寺様　217 正泉寺様　238 茂林寺様　263 長三寺様　276 陽雲寺様　285 桃林寺様　315 利済寺様　338 竜松寺様　342 東福寺様

栃木県　1 成高寺様　4 林松寺様　9 天勢寺様　23 松楽寺様　26 宝光寺様　36 妙見寺様　46 龍昌寺様　51 豊栖院様　53 大中寺様　59 安昌寺様　66 芳全寺様　68 鶏足寺様　69 慶翁寺様　94 天性寺様　103 光真寺様　114 高林寺様　119 宗源寺様　155 高沢寺様　161 東陽院様　167 興福寺様

茨城県　6 蒼泉寺様　32 竜泰院様　50 鏡徳寺様　66 吉祥寺様　67 養徳寺様　107 桂昌寺様　108 海禅寺様　172 大聖院様　191 法光寺様　197 長竜寺様

千葉県　1 総寧寺様　2 宗胤寺様　7 満蔵寺様　8 重俊院様　9 東昌寺様　12 高根寺様　17 長福寺様　21 観音寺様　29 慶林寺様　31 正泉寺様　35 海福寺様　59 宗徳寺様　62 竜湖寺様　76 全宅寺様　98 福泉寺様　104 松林寺様　117 大通寺様　130 宝積寺様　155 東漸寺様　161 大林寺様　162 長昌寺様　188 大慈寺様　226 祥雲寺様　247 東照寺様　272 永泉寺様　320 瑞岩寺様

山梨県　125 大光院様　133 少林寺様　212 慈観寺様　361 慈眼寺様　392 慈照寺様　493 蔵前院様

静岡県第一　14 吉祥寺様　39 陽明寺様　68 大仙寺様　95 久應院様　130 冷泉寺様　131 見性寺様　136 真如寺様　158 甘露寺様　180 秀源寺様　185 光明院様　206 永源寺様　306 成福寺様　394 万松院様　461 心岳寺様　495 普門院様　501 養徳寺様　532 正泉寺様

静岡県第二　240 医王寺様　275 法林寺様　289 宝蔵院様　291 明徳寺様　309 天寿院様　317 弘誓寺様　318 花岳院様　319 源光院様　329 永昌寺様　331 大江院様　339 竜豊院様

静岡県第三　607 石雲院様　739 世楽院様　759 興禅寺様　831 正林寺様　988 福王寺様　1185 満願寺様　1242 寛永寺様　1318 成道寺様

静岡県第四　1026 常久寺様　1037 宗安寺様　1039 安正寺様　1061 保福寺様　1065 高林寺様　1095 天林寺様　1100 新豊院様　1122 林泉寺様　1143 金剛寺様　1146 法輪院様　1177 礼雲寺様

愛知県第一　5 功徳院様　7 全香寺様　17 光明院様　51 梅屋寺様　55 長全寺様　58 聚福院様　62 菊泉寺様　95 妙覚寺様　96 全隆寺様　99 秋月院様　108 香積院様　111 龍興寺様　120 宝珠院様　127 龍潭寺様　131 天年寺様　138 長翁寺様　144 白毫寺様　149 正覚寺様　153 全久寺様　157 本亮院様　158 秀伝寺様　163 清安寺様　170 宝生寺様　173 神蔵寺様　200 日光寺様　206 長岳院様　216 青原寺様　220 竜泉院様　229 宝泉寺様　245 万寿寺様　251 玉雲寺様　258 正眼寺様　261 薬師寺様　306 成福寺様　309 常宿寺様　325 吉祥寺様　336 弥勒寺様　338 長養院様　341 一心寺様　342 常楽寺様　348 玉泉寺様　603 蔵円寺様　606 向陽寺様　629 神竜寺様　630 雲竜寺様　644 増福寺様　665 梅林寺様　1184 庚申寺様　1190 観音寺様　1266 地蔵院様

愛知県第二　684 花井寺様　686 歓喜寺様　723 西漸寺様　753 西明寺様　783 法住寺様　784 長泉寺様　815 西光寺様　827 西福寺様　841 育清院様　853 長伝寺様　854 全福寺様　876 大乗院様　877 霊巌寺様　902 慈眼寺様　927 春興院様　1010 法性寺様

愛知県第三　384 慈眼寺様　438 吉祥寺様　459 松寿寺様　525 極楽寺様　562 慈光院様　575 見性寺様

岐阜県　46 春光寺様　50 松雲院様　51 天徳寺様　58 寿福寺様　63 長泉寺様　75 地蔵院様　80 竜泰寺様　83 善応寺様　108 玄霜寺様　113 安養寺様　116 永泉寺様　122 大竜寺様　139 長国寺様　154 瑞現寺様　188 洞泉寺様　189 久昌寺様　203 増徳寺様　217 本覚寺様　238 智照院様　242 桃春院様　245 良守寺様

三重県第一　7 海蔵寺様　11 真如寺様　36 法安寺様　37 四天王寺様　52 菩提寺様　66 広禅寺様　73 万像寺様　94 極楽寺様　95 天照寺様　143 養泉寺様　144 福源寺様　183 光徳寺様　218 海蔵寺様　240 安心寺様　246 宝泉院様　265 西光寺様　269 大蓮寺様　276 地蔵院様　284 常安寺様　350 安楽寺様　351 雲祥寺様

三重県第二　377 海禅寺様　394 光福寺様

滋賀県　10 青龍寺様　160 長谷院様

京都府　16 地蔵院様　26 岩屋寺様　35 誕生寺様　67 苗秀寺様　69 甘露寺様　71 厚元寺様　73 春現寺様　95 極楽寺様　138 盛光寺様　177 真福寺様　196 西方寺様　320 振宗寺様　354 蓮華寺様　382 竜雲寺様　388 福聚院様　408 [illegible]様

大阪府　5 臨南寺様　12 印山寺様　28 法華寺様　31 正泉寺様　39 霊松寺様　56 南昌寺様　65 西福寺様　88 正俊寺様　95 竜尾寺様　97 菅相寺様　119 紅谷庵様

奈良県　25 宝泉寺様　27 悟真寺様

和歌山県　5 大泉寺様　10 窓誉寺様　39 光泉寺様　57 南珠寺様

兵庫県第一　10 福田寺様　14 禅昌寺様　39 景福寺様　45 福祥寺様　315 長松寺様　338 勝竜寺様　340 永春寺様　341 常厳寺様

兵庫県第二　111 多聞寺様　121 徳寿寺様　135 弘誓寺様　143 観音寺様　145 長源寺様　167 善福寺様　189 観音寺様　217 長福寺様　231 光雲寺様　233 長谷寺様　240 隆国寺様　280 長源寺様　437 桐葉寺様

岡山県　5 景福寺様　10 長連寺様　16 善福寺様　31 瑞雲寺様　32 金竜寺様　37 禅源寺様　41 吉祥寺様　43 千光寺様　82 宝鏡寺様　87 桂巌寺様　101 雲泉寺様　103 蓮福寺様　105 長松院様　131 済渡寺様　145 雲居寺様　166 善福寺様　169 毎来寺様　171 極楽寺様　177 幻住寺様

広島県　6 禅昌寺様　8 聖光寺様　17 存光寺様　20 玉照院様　22 光禅寺様　28 長福寺様　59 松寿寺様　60 香積寺様　63 長福寺様　76 長福寺様　79 西林寺様　93 賢忠寺様　113 寿福寺様　131 善昌寺様　133 少林寺様　135 鳳林寺様　136 安福寺様　149 万福寺様　177 功徳寺様　185 明福寺様

山口県　1 禅昌寺様　22 皇徳寺様　25 弘済寺様　27 長徳寺様　60 慶雲寺様　78 華厳寺様　86 興元寺様　89 福田寺様　95 妙法寺様　111 渓月院様　125 竜泉寺様　165 泉福寺様　172 広福寺様　189 海潮寺様　193 大應寺様　202 蔵海軒様　213 高林寺様　223 東光寺様　250 雲照寺様　259 心清寺様　262 慈光寺様

鳥取県　1 興雲寺様　5 殊長寺様　30 長通寺様　31 梅翁院様　45 禅福寺様　48 譲伝寺様　72 谷昌寺様　75 長栄寺様　78 山名寺様　81 大岳院様　99 正応寺様　135 円福寺様　146 妙楽寺様　153 法蔵寺様　156 福厳院様　161 般若寺様　181 伝燈寺様　190 自照寺様

島根県第一　209 円通寺様　296 守源寺様　297 西福寺様　330 正法寺様

島根県第二　2 永昌寺様　17 円光寺様　18 万松院様　25 安養寺様　26 国正寺様　32 宗渕寺様　55 清見寺様　64 安栖院様　77 本覚寺様　86 北禅寺様　90 常福寺様　99 禅慶院様　101 円光寺様　118 常福寺様　120 大光寺様　139 十楽寺様　169 長安寺様　195 総光寺様　201 晋叟寺様　206 十満寺様

徳島県　17 江音寺様　26 城満寺様

高知県　3 善教寺様

香川県　3 南隆寺様

愛媛県　5 徳林寺様　8 栖岸院様　10 瑞林寺様　14 安楽寺様　18 陽春院様　31 千如寺様　101 常昌寺様　112 竜泰寺様　114 東栄寺様　143 真光寺様　164 城慶寺様　176 円成寺様

福岡県　15 竜国寺様　65 常楽寺様　102 能満寺様　158 報恩寺様　178 常関寺様

大分県　8 豊音寺様　24 海門寺様　48 宗玄寺様　174 観海寺様　175 羅漢寺様

長崎県第一　2 菩提寺様　26 鏡円寺様　33 妙本寺様　35 和銅寺様　46 洞禅寺様　52 青眼寺様　57 長泉寺様　69 西蓮寺様　78 宝泉寺様　88 慈光院様

長崎県第三　101 南明寺様

佐賀県　1 宗竜寺様　27 長泉寺様　30 悟真寺様　32 泊舟院様　92 清心寺様　103 浄円寺様　108 光明寺様　114 広厳寺様　164 大洋寺様　174 常安寺様　231 福田寺様　252 竜雲寺様　260 信福寺様

熊本県第一　50 雲泉寺様　59 円通寺様　60 含蔵寺様　65 清水寺様

熊本県第二　79 向陽寺様

宮崎県　2 吉祥寺様　22 大雄寺様　25 東光寺様　44 浄土寺様

鹿児島県　3 大中寺様

長野県第一　12 松巌寺様　38 耕雲庵様　65 柳原寺様　107 観音寺様　113 安養寺様　119 龍洞院様　123 真蔵寺様　134 大林寺様　137 浄福寺様　177 健命寺様　224 玄照寺様　227 岩松院様　288 正安寺様　290 大林寺様　311 竜雲寺様　314 桃源院様　329 全宗寺様

長野県第二　374 三光寺様　386 西福寺様　389 宗福寺様　400 長久寺様　405 水月院様　419 宗徳寺様　420 金松寺様　433 玉泉寺様　434 源長寺様　460 法雲寺様　471 西光寺様　473 常円寺様　484 円応院様　513 慈恩院様　525 林叟院様　559 東昌寺様　560 清水庵様　563 竜光寺様　595 検校庵様　626 養福院様

福井県　12 金西寺様　33 恵雲寺様　47 瑞祥寺様　50 義宣寺様　143 浄林寺様　145 瑞林寺様　254 円明寺様　262 西広寺様

石川県　36 崇禅寺様　79 東光寺様

富山県　26 徳城寺様　83 永久寺様　86 翁徳寺様　111 光禅寺様　146 明禅寺様　149 薬王寺様

新潟県第一　5 興源寺様　313 楞厳寺様　321 種月寺様　341 雙善寺様　343 慈眼寺様　358 円光寺様　362 長禅寺様　371 長見寺様　373 常福寺様　380 妙雲寺様　382 光照寺様　394 常安寺様　400 東福寺様　437 善祥寺様　438 長昌寺様　447 興珊寺様　451 正円寺様　462 正眼寺様　463 洞源寺様　467 宗竜寺様　473 雲洞庵様　490 円蔵寺様　498 水月寺様　511 慈雲寺様

新潟県第二　710 晃照寺様

新潟県第三　535 普光寺様　546 清月寺様　553 安住寺様　772 松月院様　802 十王寺様

新潟県第四　9 東陽寺様　22 久昌寺様　30 茂林寺様　62 雲祥寺様　117 釈尊寺様　119 西照寺様　124 竜耕寺様　158 高徳寺様　204 養泉寺様　222 正続寺様　236 東岸寺様　239 千眼寺様　252 満福寺様　255 竜皐院様　265 東林寺様

福島県　6 龍鳳寺様　7 清水寺様　8 白山寺様　10 佛母寺様　23 東源寺様　24 盛林寺様　25 安洞院様　30 陽泰寺様　58 西泉寺様　63 昌源寺様　68 大林寺様　75 細谷寺様　79 西松寺様　84 福源寺様　90 明光寺様　97 三乗院様　99 茂林寺様　101 成林寺様　106 興隆寺様　119 長泉寺様　133 永禄寺様　139 徳成寺様　143 西光寺様　150 松林寺様　162 昌建寺様　168 清光寺様　173 長慶寺様　178 広度寺様　180 蓮蔵寺様　210 長源寺様　212 東林寺様　214 満円寺様　226 常隆寺様　231 円通寺様　256 仲禅寺様　266 洞雲寺様　267 東禅寺様　274 竜門寺様　310 観音寺様　311 長照寺様　318 安穏寺様　324 松泉寺様　343 西勝寺様　345 大用寺様　370 秀長寺様　372 恵倫寺様　374 常徳寺様　379 大林寺様　388 秀安寺様　401 常楽寺様　406 浄泉寺様　470 西隆寺様

宮城県　4 円福寺様　10 滝沢寺様　18 東秀院様　20 栽松院様　33 玄光庵様　35 竜雲院様　60 柳沢寺様　139 瑞雲寺様　149 喜松院様　153 徳本寺様　192 大祥寺様　213 松窓寺様　237 圓通院様　254 三古寺様　256 真禅寺様　263 西林寺様　271 願成寺様　278 津竜院様　295 松巌寺様　296 龍洞院様　313 萬蔵寺様　337 建立寺様　371 頼光寺様　390 西光寺様　404 興福寺様　415 観昌寺様

岩手県　1 報恩寺様　2 祇陀寺様　7 永祥院様　8 源勝寺様　12 沼福寺様　13 長善寺様　18 明円寺様　31 喜雲寺様　32 吉祥寺様　48 大泉院様　51 蟠龍寺様　52 福蔵寺様　53 廣全寺様　55 長寿寺様　59 鳳林寺様　65 仁昌寺様　68 松山寺様　69 大興寺様　71 円通寺様　74 瑞興寺様　94 浄珠院様　105 円通寺様　111 西泉寺様　113 興国寺様　133 大林寺様　168 長安寺様　186 大光寺様　212 大光寺様　214 永沢寺様　216 善竜寺様　219 遠応寺様　228 光照寺様　242 大慈寺様　249 光明寺様　252 柳玄寺様　256 曹源寺様　270 海蔵寺様　276 慈眼寺様　277 南陽寺様　288 長福寺様　293 長興寺様　295 東海寺様　303 千手寺様　307 宝福寺様

青森県　22 恵林寺様　26 安盛寺様　27 蘭庭院様　31 陽光院様　43 夢宅寺様　44 高沢寺様　45 全竜寺様　57 雲祥寺様　69 常現寺様　74 浮木寺様　90 高雲寺様　91 寶福寺様　101 聖福寺様　119 大安寺様　155 元光寺様　179 大日寺様　180 中央院様　183 大乗寺様　185 観音寺様

山形県第一　34 川口寺様　58 慶松寺様　76 正法寺様　81 金勝寺様　101 長泉寺様　113 洞興寺様　124 吉祥院様　142 陽春院様　153 南泉寺様　154 宿用院様　155 岩松院様　176 竜源寺様　182 養源寺様　232 広際院様　241 福昌寺様

山形県第二　263 耕円寺様　316 金鐘寺様　346 長福寺様　369 海応院様　417 繁応院様　746 平等寺様

山形県第三　438 西光寺様　466 禅竜寺様　471 禅源寺様　502 楞厳院様　520 永寂寺様　524 竜川寺様　552 福源院様　554 徳昌寺様　581 長現寺様　595 荒川寺様　626 見政寺様　637 泰宗寺様　652 青陽院様　710 城仙寺様　718 長渕寺様　728 泉宝寺様　735 冷泉寺様　741 雲竜寺様

秋田県　10 歓喜寺様　18 乗福寺様　22 源正寺様　32 大竜寺様　36 自性院様　54 天昌寺様　68 長泉寺様　85 宝円寺様　91 瑞光寺様　104 普門院様　106 長禅寺様　109 竜門寺様　114 光禅寺様　134 最禅寺様　136 長谷寺様　141 香川寺様　144 霊仙院様　147 少林寺様　160 雲岩寺様　165 能持院様　174 満福寺様　180 竜泉寺様　181 黄龍寺様　185 永蔵寺様　191 正伝寺様　209 満友寺様　235 竜巌寺様　258 鳳来院様　260 松庵寺様　264 長慶寺様　266 松源院様　274 盛沢寺様　278 清徳寺様　284 善徳寺様　295 太平寺様　299 宝勝寺様　302 天昌寺様　306 洞雲寺様　309 寿仙寺様　311 全応寺様　312 長興寺様　323 恩徳寺様　334 宝珠寺様　338 円通寺様

北海道第一　1 高龍寺様　9 円通寺様　15 大竜寺様　16 願応寺様　19 道了寺様　21 竜光寺様　37 法徳寺様　43 大円寺様　96 観音寺様　99 全久寺様　249 浄国寺様　264 法雲寺様　327 大宥寺様　353 竜宝寺様　486 薬王寺様　488 清泉寺様　496 真龍寺様　500 天瑞寺様　504 達磨寺様

北海道第二　104 常厳寺様　115 大玄寺様　120 大雄寺様　122 永安寺様　131 法光寺様　165 玉運寺様　169 金剛寺様　171 開原寺様　181 永祥寺様　182 聖徳寺様　183 東光寺様　190 禅林寺様　248 総泉寺様　260 龍雲寺様　319 天嶺寺様　329 大雲寺様　338 大仙寺様　343 皓聖寺様　344 全龍寺様　358 禅照寺様　433 総林寺様　451 永泰寺様

北海道第三　136 竜渕寺様　140 東伝寺様　203 西来寺様　204 開法寺様　225 明光寺様　228 大霊寺様　250 最乗寺様　290 定泉寺様　460 道貫寺様

御協力誠に
ありがとう
ございました。

## 読者の声

「斬新な改革新聞、大変うれしいことです。」
（神奈川県　吉祥院様）

「ご発展をいのります。自由投書覧（字数制限）があるとよいです。お願いします。」
（福島県　盛林寺様）

「資本主義は人間から佛性をうばいます。知足の経済学を確立しましょう。期待しています。合掌」
（千葉県　福泉寺　無着成恭様）

「ご活躍に敬意を表します。広報誌「そうせい」有り難く拝見致しております。」
（新潟県　西照寺様）

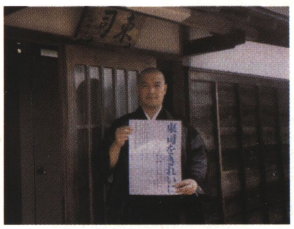
御意見、御感想をお寄せいただき誠にありがとうございました。今後の誌面づくりの参考とさせていただきます。

## 投稿大募集

皆様のお寺で行われた、道元禅師750回大遠忌にちなんだ、エピソードを紹介して下さい。文章は200字以内でお願いいたします。写真や、お寺の寺報などでも結構です。また、引き続き御意見等募集いたしております。応募者には、今まで、「そうせい」で御紹介した本の中から一冊を抽選で10名様にプレゼントいたします。

**あて先**　〒699-0624
島根県簸川郡斐川町
上直江199　妙相寺内
そうせいサロン係

## 「家庭仏教の実践としてのトイレそうじの実行」



全国曹洞宗青年会では「七百五十回大遠忌」に因み、慕古実践行のひとつとして「東司掃除の実践運動」を全国に展開致しております。

道元禅師は『正法眼蔵洗浄巻』を著され、お釈迦様の実子であり、後に十大弟子のひとりに数えられる羅睺羅が、修行に疲れて厠で寝ていると、お釈迦様は頭を撫でながら「出家はどんな苦しいことにも耐えねばならぬ」と自ら説法された故事を引かれ、修行道場としての便所の重要性を説かれました。便所は、自然の摂理、人間の人間たるを黙して悟る道場であり、最も頻繁に使用される場所でもあります。よって、寺院の便所は東司と呼び七堂伽藍のひとつであり、修行僧は、日々よつんばいになって、雑巾がけを行じています。

さて、皆さんはトイレそうじを誰がどのようにしていらっしゃるでしょうか。清掃という物理的作業に終わるのではなく、こころの豊かさを育てる道場のひとつと考えて、幼い子どもさんと一緒にトイレそうじを実行して下さい。子ども達のトイレの使い方が上手になったとか、何となく落ち着きがでてきて学校で忘れ物が少なくなったとか、実際にトイレそうじ効果の報告が聞かれます。

お寺から、家庭から、トイレそうじ運動が広がり、地域に根付いて「公徳心」を身につけた人間形成にも通じていけば、素晴らしい慕古の実践になり、家庭仏教の新しい型になるのではないかと期待しています。

全国曹洞宗青年会
会長　池上　幸秀

## 編集室敬白

今回のディスカバーヒューマンライツは、「知的障害者の人権」という題で具体的な事件をただ事実に即して記載しました。筆者曰く「読んで何を感じるかは読者に任せたいと思った」からです。人権を考えるとき一番大切なことは、「相手の立場に立って感じる、考える」ことではないでしょうか。我々のことばで言えば「同事」でしょうか。簡単なようで難しいことだと思います。今後もそうせいでは様々な角度から色々な問題提起をし読者の皆様と共に「感じ」、「考えて」いきたいと思っております。

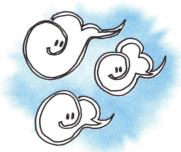
◆お詫びと訂正

一一七号28ページにおいて、山口県曹洞宗青年会の会計と事務局が入れ違っておりました。謹んでお詫びし、左記のとおり訂正いたします。

会　計　大野　泰生
事務局　末益　泰輝

パソコン格闘記、エコクッキングは都合によりお休みとさせていただきます。

## 遠山無限



## 一青年会の日一

**1．上山アクセスについて**

①当日は高志観光の貸切バスを用意しますのでご利用ください。（所要時間約40分）

29日　ＪＲ福井駅→永平寺
　　福井駅東口　14：40発
30日　永平寺→ＪＲ福井駅
　　永平寺門前　13：00発

その他、京福路線バス（片道720円、所要時間約50分）とタクシー（片道約4,200円、所要時間約20分）があります。

自家用車での御上山はなるべくご遠慮ください。やむをえず自家用車で御上山の場合は町営第３駐車場をご利用ください。

**2．上山時の注意**

＊上山威儀
改良衣または作務衣
＊法要威儀
黒衣、木欄、襪子
＊準備物
東司掃除用雑巾、雑巾持ち帰り用ビニール袋、作務衣、洗面用具タオル（ゆかた、浴司石鹸はご本山のものをお借りします）
＊当日連絡先
事務局高原携帯　090－1180－1800
大本山永平寺受所　0776－63－3102

**3．傘松道詠納経について**

ご本山からいただく納経証には納経者の名前が載っておりません。各自名前を書いて納経者にお渡しすることになりますのでよろしくお願いいたします。

**4．参加申込**

各青年会からお申込ください。（参加恩金１人5,000円）

**5．その他**

『正法眼蔵八大人覚』読誦経典は事務局で用意します。

# 和歌山県曹洞宗青年会

子供との触れ合いは我々に新鮮な感動を与えてくれる！

CLUB REPORT 青年会モザイク

## DATA

| | |
|---|---|
| 発足 | 昭和63年 |
| 会長 | 池田 道倪 |
| 副会長 | 南出 素孝 |
| | 瀬戸 道雄 |
| 会計 | 補陀 寛之 |
| 事務局 | 山本 寿法 |
| 会員22名 | |

本年はワールドカップ・イヤー…今大会では、躍進著しい日韓本代表もさることながら、五大陸すべての代表国が決勝トーナメントに進出するなど、スポーツ界での出来事とはいえ世界平和の祭典でこのようなめでたいことが起こるのは、二十一世紀の行く末も前途洋々たる暗示か？

私たち和歌山県曹洞宗青年会（以下、当会）でもW杯を観戦し、世界平和を祈るという壮大な活動のために、例年六月に行う総会を七月に延期。例年になくとても充実した活動の日々を送った。（執行部にサッカー好きがおり、決してW杯観戦を優先させたというわけでなく、あくまでも世界平和を祈るため…念を押して）

さて、このような当会の発足は、今をさかのぼることたった十五年前。和歌山という他県に比べるべくもなく青年僧激少数の地に産声を上げた。ただし、当会は発足以来少数の不利よりもむしろ、少数であるからこその〝利〟を活かすべく細部まで行き届いた心の通う行事を心がけてきた。まさに少数精鋭部隊「和曹青」。ちょっと言い過ぎかも？

会員が一番大切に、そして楽しみにしている行事「子供緑蔭禅の集い」。子供との触れ合いは、我々に新鮮な感動を与えてくれ、我々もまた子供たちに「禅」を通して何かしら感じてもらえるよう努めている。子供たちの反応がおもしろい。そして子供たちの素朴な疑問に〝素〟で答えてしまう…「和尚さん、何が好き？」「お酒」。そんなやりとりがあったかどうかは定かではないが、子供の目線でモノを捉えることができるこの機会は貴重な時間であることは言うまでもない。

それ以外の活動としては、寒中托鉢や祖跡巡拝、法式研修会など「研鑽」を軸とする活動と、各地ソフトボール大会への参加など「和」を趣旨とする活動の二軸を主体に日々注力させていただいている。

当会活動の大きな特徴として、和歌山県内十二宗派の青年僧が「テラを出よう」をスローガンに集まる「和歌山県青年僧の会」とのコラボレーション活動があげられる。このコラボレーションによって各活動に対する会員動員数が百名を越えるため、有名著名人を招いての文化講演会や海外研修、一般の方々との熊野古道散策など大規模な活動も年中行事として実現できている。また、超宗派ということもあり非常に活気のある活動となっている。

現在、当会は若い新戦力も加わり、発足以来の充実期を迎えている。これからも皆様からのご助言をいただきながら、精鋭の名に恥じないよう研鑽努力し、諸活動に尽力する所存である。どこかで当会会員と言葉を交わす機会があるならば「よっ！和曹青」と一声叱咤激励していただきたい。でも、あまりな大声だと恥ずかしいから、抑え気味にお願いしたい。

発行所 全国曹洞宗青年会 〒105-8544 東京都港区芝2-5-2 曹洞宗宗務庁内／発行責任者 池上 幸秀 編集責任者 河村 康秀 編集委員 千葉 琢道・大熊 真龍・中町 天慧・奥山 千成・東井 千明
本誌編集部へのお問い合わせ先 〒063-0037 北海道札幌市西区西野7条9丁目7-1 養福寺内 ☎（011）661-0611／全曹青ホームページ http://www.sousei.gr.jp／印刷所 株式会社 中央デザイン／定価 百円

100% 古紙100%再生紙